高崎女子高等学校

S A H

Student Agency High School

2025

計画書

【一般向け】

令和 7 年 2 月 27 日(木)

群馬県立高崎女子高等学校

はじめに

群馬県教育委員会は、2023 年度（令和５年度）より非認知能力育成に向けた実践研究を行うこととし、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指したＳＡＨ（Student Agency High School（ステューデント・エージェンシー・ハイスクール））指定校の取組が始まり、２年目が終わろうとしています。

高崎女子高校は、県のＳＡＨ指定校として令和５年度から令和７年度末までの３年間の指定を受け、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指し、初年度は、高女 GP（グラデュエーション・ポリシー）として「自立・創造・対話」を掲げ、9 つの具体的取組を実施してまいりました。

本計画書は、2024 年度（令和６年度）の実践を元に、指定校最終年度（令和７年度）の「高女ＳＡＨ」の目指す方向性と具体的取組をまとめたものです。私たちは実践を行う上で、常にこの計画書に立ち戻り、定点チェックをしながら進める資料として作成しています。詳細まで記しているところもありますが、私たちの覚書としての役割も持たせていますのでご了承ください。

群馬県ＳＡＨ事業の最上位目標は「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」であります。
これは 2024 年度（令和６年度）から 2028 年度（令和 10 年）までの５年間を期間とした「群馬県教育ビジョン」の最上位目標である「自分とみんなのウエルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会に向けてーひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成ー」と目指す方向性は一致しています。

また、新しい高等学校学習指導要領が 2022 年（令和４年）４月から年次進行で実施されており、すべての生徒が新しい学習指導要領に基づいて学んでいます。新しい学習指導要領には、ＡＩ（人工知能）などの情報技術の急速な進化やグローバル化が進展する予測困難な社会において、予測できない変化に対し誰かが良くしてくれるであろうと受け身で対処するのではなく、自ら行動を起こし主体的に向き合って関わり合うことで、自分の力で人生や社会をより良くできるという実感を持ち、自ら困難を乗り越え、未来に向けて前進しようとする社会人を育てたいという想いが込められています。

新しい学習指導要領では、これからの教育の方向性として、①学校教育を学校内に閉ざすことなく地域や社会と連携・協働することで「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を重視すること。②各学校においては教育課程に基づく教育活動の質を向上させ学習効果の最大化を図る「カリキュラム・マネジメント」の確立を図ること。さらには、③各教科等の指導において資質・能力が偏りなく育成されるよう、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うこととしています。

高崎女子高校は、校訓（向学叡智・清楚品位・明朗闊達）及び 125 年の歴史と伝統を継承し、これまで培ってきた高女の教職員の想いと叡智を活かすとともに、社会の要請を受け止めた学習指導要領及び群馬県教育ビジョン、さらにはＳＡＨ最上位目標に基づいた新しい教育にも組織的・継続的に取り組んでまいります。

この計画書で示している「高女ＳＡＨ」の取組にはメリット・デメリットがあり、これらを実行すればすべてうまくいくというような夢の方法ではありません。一人ひとりの生徒が自分の良さや可能性を認識し、豊かな人生を切り拓いていけるよう最大限支援をしていくための一方策と考えています。

ここにまとめた「高女ＳＡＨ」の目指す方向性と具体的取組は、先生方が教員研修を通して提案してくれた原石を磨き、高女生と保護者の皆様の意見をできるだけ反映させてまとめたものであります。まだまだ不十分な点があり、今後の取組を進める中で見直しやブラッシュアップ等が必要になってくるでしょう。

これで完成ではなく、むしろこれからがスタートであり、指定校最終年だけでなく、指定校終了後も引き続き（サグラダファミリアのように）改善を続けることが必要であると考えています。

高女生の皆さんは、「自ら考え、判断し、行動できる人」を目指し、先入観や固定観念にとらわれたり誰かが良くしてくれるであろうと受け身で対処したりするのではなく、自ら行動を起こし積極的にチャレンジしてください。高女生全員が小さな一歩を踏み出せば、一人ひとりの一歩は小さくとも大きな前進となります。

誰にも個性があり、得意、不得意があると思いますが、自分の得意を伸ばし、自分を信じて、あなたしかできないことを見つけて挑戦して欲しいと思います。

また、若者の特権は、若者にしか気付けない発想力にあります。その若い皆さんの発想力に社会を変える力が宿っていると確信しています。

高女生全員がダイヤモンドの原石であり、高女での高校生活の中でその原石を磨き上げ、高女の先輩方が実践しているように、グローバルな視点をもち、社会をよりよくする存在として大いに羽ばたいて欲しいと願っています。

高崎女子高校の先生方は、目の前にいる生徒一人ひとりをリスペクトし、一人の大人として尊重して欲しいと思っています。どの生徒も自ら考え、判断し、行動できる力を持っていると信じ、生徒と同じ目線に立ち「指導する」から「支援する」という心構えで生徒に向き合って欲しいと思います。

その際、生徒が目指す進路を達成できるよう、生徒の進路に応じた明確な指針を示し、生徒が選択できるように配慮しながら、付かず離れず生徒の背中を押してください。

保護者の皆様も、お子様を一人の大人として尊重し、自ら考え、判断し、行動できる力を持っていることを信じ、自ら進路を切り開けるよう見守っていただけると幸いです。

高崎女子高校は、高女生に時間を返し、自ら考えたり実行したりする機会や場を設けることで、主体的にそして飛躍的に成長しようとする高女生を応援します。

子どもたち同様、我々大人も主体的に行動し、挑戦する気持ちを常に忘れずにいることが大切です。悩んだら最上位目標「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」に立ち返って考えることで、前向きに、楽しみながら取り組んでいけたら幸いです。

生徒一人ひとりの高校生活が真に力強く輝きのあるものになるように願い、また、生徒たちが本校で培った力を礎に、生涯に渡って更に自己の力を磨きながら、新たな社会の創造に寄与していく存在となっていくことを願い、このＳＡＨの取組を進めます。

高崎女子高校の生徒、教職員、保護者、同窓会そして地域の皆様を含めたすべての関係者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

２０２５年２月２７日
群馬県立高崎女子高校

《目次》

Ⅰ　はじめに

目次

第１　群馬県教育ビジョン～第４期群馬県教育振興基本計画（群馬県教育委）・・・・　4
第２　群馬県ＳＡＨ指定校の取組について（群馬県教育委員会）・・・・・・・・・・　6
第３　高崎女子高校グランドデザイン２０２５　・・・・・・・・・・・・・・・　7
第４　高崎女子高校スクールポリシー（GP、CP、AP）２０２５　・・・・・・　8

Ⅱ　令和７年度「高女 SAH」９つの具体的取組

第１　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
第２　詳細　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

Ⅲ　参考資料

（1）高女ＳＡＨリーフレット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
（2）令和７年度年間活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
（3）令和７年度年間行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
（4）進路：令和７年度進路指導計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
（5）進路：令和７年度模試・課外等計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29
（6）進路：令和７年度模試計画＆日程調整案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30
（7）探究：椎の時間（総合的な探究の時間）年間計画・・・・・・・・・・・・・・・　32
（8）探究：令和７年度入学生探究計画概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33
（9）令和７年度ＬＨＲ年間計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34
（10）高女ＧＰポスター２０２５　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35

第１　群馬県教育ビジョン（群馬県教育委員会）

第４期 群馬県教育振興基本計画

群馬県教育ビジョン

計画期間：2024年４月～2029年３月



最上位目標　自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
－ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成－



－ これからの時代を生きていく私たちに必要なこと －

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

**人は、誰しも、生まれついて 自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。**

○一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
○子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
○地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題



●私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
●良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
●これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

2024年３月　群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの策定に向けた想い





【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう――それが、この「群馬県教育ビジョン（第４期群馬県教育振興基本計画）」に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしていくのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。

私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん――時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体（メンバーの一人）なのです。

ニュースやＳＮＳの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか？「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんなふうに感じてはいませんか？

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めているから、自分ではどうしようもない――そのように思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人きりで今すぐに社会を変えることは難しいかもしれません。それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰しも、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。

この計画の内容を考えるときに、高校生と大学生が参加するワークショップを行いました。そこでは、「後輩に引き継ぎたい理想の学校はどんな学校か」、「学校に留まらない、これからの未来に向かう学びは、どのようなものになるとよいか」について意見を出し合いました。「生徒が主体的に動ける学校になるとよい」、「自分に合わせて意欲的に学べて、先生がサポートしてくれる環境が多くあるとよい」、「横（学校や各自のコミュニティ）や縦（年代）の広がりのある学びになっていくとよい」といった意見が多く出ました。

こうした「自分とみんなのために動きたい」、「そのために自分の意志で学びたい」という気持ちを伸ばしていくのか、それとも損ねてしまうのか。それは、皆さん自身の考え次第です。また、周りの大人の関わり方や環境によっても変わるでしょうし、そこには教育の在り方も大きく影響すると考えています。

群馬県教育ビジョンでは、児童生徒の皆さんを「一方的に教えられ、守られるだけの子ども」とは考えません。皆さんそれぞれの年齢や状況に応じて、自分の頭で考え、判断し、行動できるようになるための力を身に付けてほしいと願っています。

群馬県の教育をより良いものにしていくために、更には、この社会をより良いものにしていくために、児童生徒の皆さんと私たち大人とが、共に力を合わせていけたら素晴らしいことだと思います。

群馬県教育委員会





群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから

第２　群馬県ＳＡＨ指定校の取組について（群馬県教育委員会）

ＳＡＨ指定校の取組について（イメージ）

目的　自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成

課題感

○生徒たちは真面目でいい子だけど･･･
- もう少し自分で考えられないかな？
- もう少し積極的に行動できないかな？
- 昔に比べて多様化しているよね？

○生徒のために色々取り組んでいるけれど･･･
- 新しい取組がどんどん増えて多忙化してるよね？
- この取組は本当に必要なのかな？
- 一律の指導は本当に効果があるのかな？



取組の視点

- 生徒の自律を育む教育活動の実施
- 一斉型授業の改善
- 手段が目的化している取組の見直し
- 目的のわからない慣例やルールの廃止

など

取り組むために必要なもの

- 学校長のリーダーシップ
- 先生方のアイデア

支援

県教委の伴走
横浜創英高校との連携（研修・職員派遣等）

【参考】
○ 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（審議まとめ）（令和２年11月 同ワーキンググループ）
○「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）（令和３年１月 中央教育審議会）
○ Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ（令和４年６月 総合科学技術・イノベーション会議）

目指す生徒の姿

- 自分で考えて判断できるようになる
- 行動力や折れない心が身に付く
- 対話による問題解決能力が身に付く
- 当事者として自分の責任で考えられるようになる
- 自分の力で未来を切り拓いていく



目指す学校の姿

- 指導の目的を共有し、協働できるようになる
- 目的達成に向け、一貫した、ぶれない指導ができる
- 教育活動や業務の改善・精選ができる
- 指導の目的が、言語化して共有される
- 管理職や教員の異動があっても、学校の特色や在り方に継続性が生まれる



モデル校の取組について

○ 横浜創英中高との連携、非認知教育専門家委員会からの提言、スクール・ポリシーの策定等を通して、新たな学びのスタイル（群馬モデル）を研究・構築する。
○ これまでの「日本型学校教育」により伸ばしてきた基本的な学力や規範意識を土台に、新しい学習指導要領の実施を通して、全ての高校に求められる「令和の日本型学校教育」について研究するものである。
○ モデル校の取組は、教員の働き方改革の視点を持って行う。

非認知能力の評価・育成事業　事業計画イメージ

（教）総務課　令和６年１月

目指す児童生徒の姿　自分と他者をかけがえのない存在と認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任ある行動をとる人

非認知教育専門家委員会

1 指定校における実践研究

① 非認知能力の育成を目指し、生徒の自主性・自律性を生かした取組を実践
- ○ 横浜創英中高との連携・研究体制の構築
- ○ 管理職・教員の理解の醸成
- ○ カリキュラムや取組内容の検討
- ○ 具体的な取組の実施・修正・改善
- ○ 指定校研究会の開催
- ○ 県内学校への横展開

2 SSESの分析・活用方法の検討

② 群馬県（高1）の非認知能力の実態把握
- ○ SSESの調査結果の分析

③ 非認知能力の把握方法、把握データの活用方法の検討
- ○ アセスメントの在り方の検討
- ○ 育成の手立ての検討
- ○ 認知能力等との関連性の検証手法の検討

	R5	R6	R7	R8	R9～
	実践事例、評価手法、海外研究機関との連携等、非認知教育全般に関する協議				展開・発信
①	準備・研修 ○管理職・教員の理解の醸成 ○実施体制や取組内容の検討	実践研究・構築 ○具体的な取組の実施・修正・改善 （指定校A：具体的な取組／具体的な取組　指定校B：具体的な取組／具体的な取組　等） ○先進校視察			○県内学校への横展開 群馬モデル ・実践研究事例 ・具体的な育成の手立て例 ・アセスメント手法
	○指定校研究会 ○先進事例の研究（先進校、IB 等）	○指定校研究会 ○先進事例の研究（先進校、IB 等）	○指定校研究会 ○実践研究の情報共有	成果まとめ	学校の実態に応じた取組の実施 具体的な取組 各校の創意工夫
		情報提供等			
②		○調査結果の分析			
③	○分析・活用方法検討に向けた準備 ○先進事例等の様々な手法の蓄積（海外事例 等）	○アセスメントの在り方の検討 ○育成の手立ての検討（アセスメント／育成方法） ※民間研究機関等共同研究 ※海外研究機関等（スコットランド）との連携 ※県総教セ（長期研修員 等）との連携 ○認知能力等との関連性の検証手法の検討			

群馬モデルの完成

群馬モデルによる「始動人」を輩出する教育

第３　高崎女子高校グランドデザイン２０２５

群馬県立高崎女子高等学校 グランドデザイン2025

校訓「向学叡智 清楚品位 明朗闊達」

スクールポリシー





社会に羽ばたく

Graduation Policy

1 自立〈メタ認知力(先を見通す力)・自立心〉
2 創造〈挑戦力・探究力・協働性〉
3 対話〈粘り強さ・人間性・
コミュニケーション能力・グローバル力〉

高女での学び

Curriculum Policy

1 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てる場面を整備するとともに、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います
2 豊かな社会を自らデザインし、課題を発見・解決する力を育てるため、探究的な活動を推進します
3 グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が多様な人と交流・対話する機会を設けます

求める生徒像

Admission Policy

1 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人
2 より良い社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人
3 自他の個性を認め、協働して物事に取り組むことで、自分の世界を広げたい人



令和7年度の9つの取組

1 セルフメンタルケアの充実
人間関係作り
こころの教育事業
メンタルトレーニング

2 チーム担任制
1年、2年はチーム担任制

3 Aタイムの実施
昼休みを含めた
Aタイムを年8回

4 個別最適な学習支援
1年Classi、2年3年スタディサプリ、全学年スタサプEnglishを導入して自らに必要な学習をそれぞれのペースで行う

5 多様な進路実現に向けた支援の充実
難関大学、海外大学、
基礎・発展学習の講座充実

6 総合的な探究の時間の充実
1年で探究の時間を2単位とし
インターンシップを行う
修学旅行に探究的な学びを入れる

7 生徒主体の行事・企画の運営及び「協働」の仕組みづくり
開校記念式典・文化祭・体育祭・
修学旅行・DXハイスクール・
部活動顧問契約制度

8 3年間を見通したグローバル教育の充実
GSP・英検制度・海外へ

9 「高女イグナイト」による生徒への動機づけ
進路を主体的に考える動機とする
講演会などを開催

第４　高崎女子高校スクールポリシー２０２５（ＧＰ、ＣＰ、ＡＰ）

ＧＰ（グラデュエーション・ポリシー）「このような力が身に付けられる学校です。」

1. 【自立】「教わる」から「学ぶ」へ。
   自ら学び、行動する力が身に付けられます。
   ＜メタ認知力（先を見通す力）・自立心＞
2. 【創造】「高女から社会を変える！」
   誰かのためになることを新たに創造する力が身に付けられます。
   ＜挑戦力・探究力・協働性＞
3. 【対話】「地域から世界ぜんぶが私のフィールドになる！」
   多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力が身に付けられます。
   ＜粘り強さ・人間性・コミュニケーション能力・グローバル力＞

ＣＰ（カリキュラム・ポリシー）「このような学びの場を提供する学校です。」

○　高いレベルの進路目標を実現するため、学習活動や探究活動、学校行事、部活動などにバランス良く取り組みます。

1. 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てる場面を整備するとともに、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。

2. 豊かな社会を自らデザインし、課題を発見・解決する力を育てるため、探究的な活動を推進します。

3. グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が多様な人と交流・対話する機会を設けます。

ＡＰ（アドミッション・ポリシー）「このような皆さんを待っている学校です。」

1. 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人。

2. よりよい社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人。

3. 自他の個性を認め、協働して物事に取り組むことで、自分の可能性を広げたい人。

Ⅱ　令和７年度「高女ＳＡＨ」９つの具体的取組

第１　概要

１　セルフメンタルケアの充実 （GP 自立・対話）

目的：生徒が高女での生活を安心して送れるようにする。特に新入生に対しては、入学後の学校への適応を早期に図る。

概要：（１）　入学後速やかに人間関係作りのための取組を行う。
（２）　こころの教育事業やメンタルトレーニング・ペップトークを実施する。

２　チーム担任制 （GP 自立・対話）

目的：生徒と職員との関係を広げ、様々な教員との関わりの中で幅広い考えを持てるようにする。

概要：（１）　１年及び２年はチーム担任制を実施する。
（２）　３年は固定担任制を実施する。

３　Ａタイム（Agency　Time）の実施 （GP 自立・創造）

目的：生徒に時間を返し、時間の有効な使い方を考え、自ら学習時間を組み立てる意識を育てる。

概要：（１）　Ａタイムを年８回程度実施する。
（２）　生徒や教員の発案による学習を企画・実施できる。

４　個別最適な学習支援(GP 自立)

目的：生徒が自分に必要な学習を主体的に考え、計画的に取り組む機会を設ける。

概要：（１）　スタディサプリ English を全学年で導入する。
（２）　１年で Classi、２・３年でスタディサプリを導入する。
（３）　レベル別の課題を提示し、生徒が選択できるようにする。

５　多様な進路実現に向けた支援の充実（GP 自立）

目的：難関大学への進学はもとより、海外進学を含めた多様な進路について生徒に提示するとともに、生徒の幅広いニーズに応じる進路指導を行う。

概要：（１）　３年間を見通した進路指導体制を確立し、「見える化」を図る。
（２）　東大セミナー、医学部医学科セミナーへの参加を促し他校生徒と交流し、高め合う意識を形成するとともに、「みちしるべ」（大学別進路対策）を推進する。
（３）　基礎・発展の希望者講座や多様な進路ニーズに応える企画を充実させる。

６　総合的な探究の時間の充実 （GP 対話・創造）

目的：生徒自身の興味関心を起点にして、よりよい社会を実現させるための探究活動を行い、その活動を大学以降の学びや活動につなげられるようにする。

概要：（１）　「総合的な探究の時間」を１年次で２単位とする。
（２）　１年次に探究型インターンシップを実施する。
（３）　卒業後の進路と結び付けられる取り組みを目指す。
（４）　１、２年希望者向けに、「発展探究」を開設する。
（５）　修学旅行に探究的な学びを設ける。

7　生徒主体の行事・企画の運営及び「協働」の仕組みづくり

（GP 自立・創造・対話）

目的：生徒が学校を見直し、立案から実施まで自分たちで組み立てる機会を設ける。

概要：（１）各種行事を生徒主体で行うとともに、教職員はその企画・運営を支援する。
（２）文化祭及び体育祭は、生徒中心に立案や運営を行う。
（３）修学旅行において、学校は日頃の学びと関連付け、深い学びとなるよう支援し、生徒の学びの空間や機会の選択幅を広げる。
（４）ＤＸハイスクール事業による「tsukurunTAKAJO」を活用し、授業や行事での動画作成や資料作成などの生徒の活動を充実させる。
（５）「部活動顧問契約制度」により、生徒自身が部活動について意義や目標を改めて考え、主体的に取り組むようにする。
（６）学校における教員と生徒の「協働」のしくみづくりを進める。

8　３年間を見通したグローバル教育の充実 **（GP 自立・対話）**

目的：グローバルに活躍できる人材を育成するため、英語の授業はもちろん、様々なプログラムを用意して生徒の英語運用能力やコミュニケーション能力を高める。

概要：（１）　グローバルスタディーズプログラム（GSP）を実施する。
（２）　国際交流に関わる様々なプログラムを紹介し、絶え間ない挑戦の機会を設定する。
（３）　海外研修や留学・海外大学進学の情報を生徒に伝え、グローバルに活躍する機運を高める。
（４）　英語力測定と大学受験への活用を図るため、英検受験を推奨する。
・全員英検２級取得
・ＣＳＥスコア２２００点以上
・英検準１級５０％以上の取得を目指す。

9　「高女イグナイト」による生徒への動機付け **（GP 自立・創造・対話）**

目的：高女という日常空間で、非日常の誰かと出会う機会を作り、その刺激によって生徒の進路や人生について主体的に考えるきっかけとする。

イグナイト：心に火をつけること。

概要：　生徒や職員の発案で、多様な外部講師を招き、放課後などの時間を活用して座談会や相談会を行う。

第２　詳細

１　セルフメンタルケアの充実

（１）入学後速やかに人間関係作りのための取組を行う。

① 人間関係作りのためのプログラムを新入生オリエンテーション期間（4 月第 2 週）で実施する。

（２）こころの教育事業やメンタルトレーニング・ペップトークを実施する。

① こころの教育事業：各学年で１回ずつ、講演会とメンタルトレーニングを行う。

② ペップトーク（PEP　TALK）

自分･家族･仲間に伝える元気や勇気を与えるポジティブな言葉を使ったコミュニケーションを学ぶ講習会の実施。本年度は新入生に対して４月９日（水）１２：４０～１３：３５で行う。講師は上牧温泉病院の今野敬貴先生（日本ペップトーク普及協会認定講師）。

２　チーム担任制の実施

（１）　１年及び２年はチーム担任制を実施する。

① １年

学年主任　L

グループ	Ⅰ	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	
学級	１組	２組	３組	４組	５組	６組	７組
チーム担任	A・B	C・D・E		F・G・H		I・J・K	
事務担任	B	D	E	G	H	J	K

１　学年をⅠ～Ⅳのグループに分け、各グループに複数の担任を配置する。

２　L を学年主任、A、C、F、I を副主任とする。

３　クラスに事務担任（学籍・保健関係書類、要録、通知表等を担当）を置く。

４　ＳＨＲ、ＬＨＲ、清掃

・１学年の４月は、事務担任が継続して指導する。

・5 月以降は､チーム担任が 2 週間単位の交代で指導する｡(交代する期間は適宜調整)

５　面談

・入学後最初の２者面談は、事務担任が行う。

・２回目以降の面談（３者面談含む）は、原則生徒側から、希望する担任を指名する。

６　保護者からの問合せ・保護者対応

・保護者には「○組の先生をお願いします」と連絡してもらう。

・相談したい教員がいる場合は、保護者に指名してもらう。

７　入学式の説明

高女では昨年度よりチーム担任制を導入している。例えば７組担任は「I・J・K」先生であると発表。

② 2年

学年主任　L

文理	理			文			
グループ	Ⅰ			Ⅱ		Ⅲ	
学級	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
チーム担任	A・B・C		D・E	F・G・H		I・J・K	
事務担任	B	C	D	G	H	J	K

1　学年をⅠ～Ⅲのグループに分け、各グループに複数の担任を配置する。
（1～3組：理系、4～7組：文系）

2　Lを学年主任、A、F、Iを副主任とする。
各クラスに事務担任（学籍・保健関係書類、要録、通知表等を担当）を置く。

3　ＳＨＲ、ＬＨＲ、清掃
新学年はじめからチーム担任が２週間単位の交代で指導する。（交代する期間は適宜調整）

4　面談
最初の２者面談は、チーム担任が分担して行う。
２回目以降の面談（３者面談含む）は、原則生徒側から、希望する担任を指名する。

5　保護者からの問合せ・保護者対応
保護者には「○組の先生をお願いします」と連絡してもらう。
相談したい教員がいる場合は、保護者に指名してもらう。

（2）　3年は固定担任制を実施する。

3　Aタイム（Agency　Time）の実施

（1）　Aタイムを年８回程度実施する。

① 6月～2月に月1回設定する。

② 時期設定は考査のある月はその1週間程度前の時期に設定する。また、実施時間は年間授業回数を考慮して授業回数ができるだけ平準化するように設定する。

③ 生徒は計画･振り返りシートを記入して取組の計画や振り返りを行えるようにする。なお、計画・振り返りシートの形式は各学年の生徒の実態に合わせて学年ごとに作成する。

④ Ａタイムの時間は「自己の学習を振り返り、今後の学習を調整する」ことにより自身に最適な学習を組み立てて実行する時間とする。その他、自身の学習や探究活動のために使用する。

⑤ 活動は原則校内とし、探究活動等により校外で活動する必要がある場合は、事前に職員に報告する。

（2）　生徒や教員の発案による学習を企画・実施できる。

① 生徒は、自己やクラスの学習に役立つ企画を立案し、Ａタイムの時間に実施することができる。職員の協力が必要な場合は、事前に相談する。

② 職員は、生徒の学習に役立つ企画を立案し、A タイムの時間に実施できる。その際、生徒が自主的に参加・不参加を決定できるよう配慮する。

4　個別最適な学習支援

（1）　**スタディサプリ English を全学年で導入する。**

①　オンライン英語教材『スタディサプリ English』（リクルート）を全学年で導入する。

②　授業の中や家庭学習で個々のレベルに合わせた演習トレーニングの機会を増やし、英語4技能（聴く・話す・読む・書く）の向上を目指す。

③　英語力測定と大学受験への活用を図るため、英検受験を推奨する。

・全員英検２級取得

・ＣＳＥスコア２２００点以上

・英検準１級５０％以上の取得を目指す。

（2）　**１年で Classi、２・３年でスタディサプリを導入する。**

①　全教科・科目で使える総合 ICT 教材として、1 年は『Classi』（クラッシー，ベネッセ)、2，　3 年は『スタディサプリ』（リクルート）を導入する。

②　両教材の主に学習･テスト機能を活用し､各社アセスメント（模試など到達度診断テスト）と連動した課題配信を行うことによって個別最適な学びを支援する。

③　小学生～高校 3 年まで全単元に渡る豊富な量・レベルの教材を各自が選択して学習することにより、苦手分野の学び直しや得意分野の伸長、授業の習熟確認及び補完、先取り学習など幅広い学習ニーズに対応する。

④　来年度以降に向けて教材のデジタル化と ICT 教材の研究をさらに進め、より良い教材の導入・活用方法を検討していく。

（3）　レベル別の課題を提示し、生徒が選択できるようにする。

①　昨年度に続き「長期休業中の個別最適な学習支援」として、夏休み中の必須学習課題を削減し、全員必修の夏季講座を実施しない。

②　①の代わりに希望者対象の講座や夏休み集中学習会などの機会を設け、生徒各自が夏休み前に立てた学習目標と計画に従って主体的に学習できるよう支援する。

③　各教科の学習課題等は生徒の主体的な学習を妨げないよう、適切な分量を課す。また、課題はレベル別に提示し、難関大合格に必要な学習の質と量を示すとともに、生徒自ら選択した課題をクリアしながら達成感を得られるように工夫する。

5　多様な進路実現に向けた支援の充実

（1）　３年間を見通した進路指導体制を確立し、「見える化」を図る。

①　進路指導計画『椎樹プラン』で実施する 3 年間のプログラムを次の 4 項目に区分し、体系的に整理した形で一覧表にまとめ、生徒・職員に分かりやすく示す。

（ア）学年共通の進路行事・課外・調査等

（イ）LHR 進路学習

（ウ）難関大・医学科対策講座『みちしるべ』

（エ）校内外のセミナー＆『高女イグナイト』

②　実施するプログラムについて全職員間で情報共有し、指導の共通化を図る。

③　進路指導計画及び指導方法について毎年見直しと改善を図る。

（2） 東大セミナー、医学部医学科セミナーへの参加を促し他校生徒と交流し、高め合う意識を形成するとともに、「みちしるべ」（大学別進路対策）を推進する。

① 県内高校合同セミナー（進学校７校）は本校も実行委員会として企画・運営にあたっている。

＜実施時期と概要（令和６年度の実施内容より）＞

＊東大セミナー：

１年 ８月(東大本郷キャンパス開催、東大教員による模擬授業・グループディスカッション、東大生との交流等)

２年 １月（駿台講師による英数国の対策講座）

３年 ７月（同 理科・地歴の対策講座）

＊医学部医学科セミナー：

２年 ７月（代ゼミ講師による小論文講座＋課題小論文添削）

２年１２月（現役医師による講演、駿台による入試情報提供＆面接対策講座等）

３年 ７月（２年７月と同じ）

② 『みちしるべ』（大学別進路対策）

低学年から難関大を目指すための心構えや入試情報提供を始め、難関大模試（駿台模試、大学別模試等）受験、希望者対象の講座、面談・個別指導、入試説明会などを定期的に行いながら、諦めることなく努力を積み重ね、志望校合格を目指す。

＜対象大学＞

難関国立10大学(北海道、東北、東京、名古屋、大阪、京都、九州、東京科学、一橋、神戸)

国公立医学部医学科

生徒のニーズによりブロック大、地元大などの説明会や講座なども随時行う。

（3）基礎・発展の希望者講座や多様な進路ニーズに応える企画を充実させる。

① 早朝課外スタート時期と開講科目

＊1学年：２学期９月～（英数国の基礎・発展）

＊2学年：１学期６月～（英数国＋生徒の希望・学習状況により理科・地歴）

＊3学年：１学期５月～（５教科、１学期期末考査終了後より放課後にも課外を実施）

② 定期考査前学習会：

部活動停止期間となる定期考査１週間前からを目安に、放課後下校時間を延長し（17時→18時）各学年の教室で学習会を実施する。各教科担当は教室または職員室で生徒からの質問に応じる。生徒の要望により補習を実施。

③ 夏季・冬季希望者講座：

３年生は受験科目となる５教科＋情報の入試対策講座、1，２年生は難関大対策講座『みちしるべ』を中心に応用・発展的な内容の講座を開講する。

④ 年内入試（総合型選抜）及び海外大学進学に対応した進路指導：

年内入試（総合型選抜）など新しい入試を研究し、生徒の挑戦を促すとともに、海外大学進学の情報を提供し、生徒の進路選択の支援をする。

6　総合的な探究の時間の充実

（1）「総合的な探究の時間」を１年次で２単位とする。

① 水曜日の５校時、６校時を「総合的な探究の時間」とする。

② １年前期では、実社会と結びつけながら探究を進めるための土台となる知識・視点・経験を得ることを目指す。

③ １年後期では、社会(自分自身)の在るべき姿と現状から問題を発見し，その原因を探る。そして、問題を解消するために課題を設定し、解決策を創造する。

（2）１年次に探究型インターンシップを実施する。

① ５月に社会課題解決の最前線を行く社長による探究発表会を５月に行い、６月のインターンシップ体験（1 日）につなげる。

② ７月には、生徒自身の興味関心に基づいた企業を生徒自身で探し、探究型インターンシップのアポイントメントを行う。

③ １０月に３日間の探究型インターンシップを行う。

④ １２月に探究型インターンシップ経験を踏まえて社会(自分自身)の在るべき姿と現状から問題を見出し、中間発表会に繋げる。

（3）　卒業後の進路と結び付けられる探究活動を目指す。

① １年の中間発表以降では、解決策を試行し、外部からのフィードバック、実験データ等をもとに効果を検証し、その試行レベルを徐々に高め、社会実装を目指す。その中で、探究活動と大学進学後の学びを接続させた志望理由を明確にし，総合型選抜(ＡＯ，特色型，推薦)の可能性も拡げる。

② 具体的には以下の内容を明確に説明できるようにすることを目指す。

・どのような社会を実現したいのか？
（自分の興味関心をよい社会作りにどのように生かせるのか？）

・実現するために必要なものは何か？

・その中で，すでに持ち合わせているものとそうでないものを具体的に説明できるか。

・持ち合わせていないものを埋めていくための計画を，進学先の学びと結び付けながら，具体的に説明できるか？

（4）１、２年希望者を対象とした「発展探究」（１、２年とも１単位）を開設する。

① より探究活動に意欲的に取り組みたい生徒向けに、水曜の７校時を「発展探究」として開設する。１、２年の「発展探究」を選択した生徒をまとめ、「発展探究ゼミ」として探究部の職員が直接探究の支援を行う。

② 他校の探究を意欲的に実施している生徒とも繋がり、探究のフィールドを拡大できるように支援する。

③ 大学生、教授、社長、専門家からの探究フィードバックの機会をより充実させる。

④ ＤＸハイスクール事業とも連動させ、最先端のＤＸ施設への視察ツアーを行う。

⑤ 「部活動ガイドライン」による平日の休日を学校として水曜日に設定する。施設利用等の都合により水曜日の設定が難しい場合には、発展探究の時間は部活動の全体練習をせず、自主練習を行うなど、生徒が発展探究を選択しやすいような配慮を行う。

（５）修学旅行に探究的な学びを設ける。

① 生徒自身が自分の興味に合ったテーマの探究学習ができるよう、主体的に選択できる行程を企画し、早期から準備にあたる。

② 修学旅行の意義を考え、大学見学や企業訪問、インタビューや現地訪問、現地大学生や留学生との交流など、生徒が幅広い選択肢を選択できるよう配慮し、総合的な探究の時間で取り組んでいる探究を深めるような実践を支援する。

７　生徒主体の行事・企画の運営及び「協働」の仕組みづくり

（１）　各種行事を、生徒主体で行うとともに、教職員はその企画・運営を支援する。

① 学校行事である開校記念式典及び学校説明会の生徒有志による在り方委員会を組織する。在り方委員会主体で内容の検討を進め、実行委員会を組織し、生徒主体で企画・運営をする。教職員はその企画・運営を支援、必要に応じて調整する。当日の進行も生徒主体で行う。

② 生徒会行事である文化祭は生徒会を中心に主体的に企画・運営に携わるメンバーを組織する。日程の調整や、発表の在り方も含めて生徒が「協働」で運営していく。

③ 体育祭は、生徒会を中心に企画・運営に携わるメンバーを組織していく。生徒のアンケート結果も活用して進める。会場の調整や、競技種目の検討を含め、当日の運営も生徒が主体的に行う。

（２）　修学旅行で探究的な学びができるように、生徒の選択幅を広げる（増やす）。

① ６の「（５）修学旅行に探究的な学びを設ける」を踏まえて企画する。

② 修学旅行委員会を中心に生徒と教員とが協働で学びを促進し、探究テーマをもとに各自が幅広い選択肢の中から行き先などを決定する。

③ 大学見学や企業訪問、インタビューや現地訪問、現地大学生や留学生との交流など、生徒が幅広い選択肢を選択できるよう配慮し、教師はその実現を支援することで修学旅行の充実を図る

（３）　ＤＸハイスクール事業による「tsukurunTAKAJO」を活用し、授業や行事、部活動などでの動画作成やプログラミング、仮想空間デザイン、資料・ポスター作成などの生徒の活動を充実させる。

① ハイスペックＰＣ、画像作成ソフト、ＶＲ（バーチャル・リアリティー）ゴーグル、撮影機材などを活用して創作活動を行いながらデジタル技術について理解を深める。

② 生徒自身が、利用する小中学生のサポートを行ったり、運営に関わったりすることで、主体性を伸ばす。

③ ４月下旬から５月上旬を目処に外部講師による講座を開始し、定期考査や年末年始等を除いて、週２回程度実施していく。

④ デジタル端末を用いて生徒からの情報発信を促進するとともに、各種デジタルコンテスト等に積極的に応募するよう支援する。

（4）　「部活動顧問契約制度」により、生徒自身が部活動について意義や目標を改めて考え、主体的に取り組むようにする。

目的：

部活動の環境を自分たちでプロデュース（活動内容、スタンス、目標、部顧問の決定など）することによって、さらに質の高い部活動と主体性を発揮した取組を目指し、充実した部活動につなげる。

概要：

教職員に具体的希望調査をして、該当部活動の代表者（部長等）と交渉を行い、お互いの受検が合致すれば交渉が成立し顧問決定（マッチング）となる。

実施内容：

① 各部でミーティングを開催し、「行動指針（約束事など）・活動方針（活動日、時間、スタンス）・活動目標（目指すゴール）・活動目的（何のために）・顧問への要望」などを決定させる。

② 教職員には具体的な希望部活動調査を行う。

③ 各部の代表者と希望している顧問で交渉を行い、お互いの条件が合致すれば交渉成立となり顧問決定（マッチング）となる。

④ 交渉時期は３月より開始とし、期間は第１回・第２回・第３回の機会を設けて実施する。

⑤ 第１回目の交渉では、第１希望である部との交渉をする。

⑥ 第２回目の交渉では、第１回目の交渉で顧問決定していない部を対象とする。

⑦ 第３回目の交渉では、第２回目の交渉で顧問決定していない部と仮契約を結んでいる場合でも新着任の職員がその部を希望している場合には交渉を実施する。したがって、第３回目は新着任職員との交渉期間とする。

⑧ 正式には部活動顧問の指導開始時期は委嘱後とし、それまでの期間は仮契約とする。

⑨ 場合によっては、２つ以上の部との交渉が成立することも、どの部とも交渉が成立しないこともある。

メリット：

① さらに生徒の質の高い主体的な活動となる。

② 顧問主導ではないので、生徒と顧問の相互理解がさらに深まり、お互いが合意形成を目指す姿勢が生まれる。

③ 交渉決定部活動と活動していくので、顧問の新知的ストレスも軽減される。

④ 自分たちで決定した顧問や方針のため、さらなる意欲・責任感の向上となる。

⑤ 顧問は交渉によって契約をするため、今以上にコーチング・カウンセリング等の指導力が養われる。

（5）学校における教員と生徒の「協働」のしくみづくりを進める。

① 高女自治の核となる評議会の機能を活性化させるとともに、生徒会、委員会、部活動、生徒の各種活動において、責任ある主体性の発現を促進、支援する。

② Google クラスルームの活用や、学校公式インスタグラムの構築とともに、それらの電子媒体を通して、生徒の活動や各種情報を生徒が広報する体制を支援、促進する。

③ 生徒会と教員の両者の連携を図る「協働」のしくみづくりを進める。

8　３年間を見通したグローバル教育の充実

（1）　グローバルスタディーズプログラム（GSP）を実施する。

①　令和７年３月 31 日～4 月 4 日まで、新 2，3 年生を対象に PTA 主催の GSP を開催する。

②　令和７年７月 21 日～7 月 25 日まで、1 年生全員と 2，3 年生の希望者を対象に GSP を開催する。

（2）　国際交流に関わる様々なプログラムを紹介し、絶え間ない挑戦の機会を設定する。

①　他校と合同で開催される短期留学プログラム、明石塾（希望者）参加の推奨、ＡＩＧ高校生外交官プログラム、グローバル始動人プレゼンアワード、トビタテ！留学ジャパンなどの校外国際交流イベント・講座などへの参加を推奨する。

（3）　海外研修や留学・海外大学進学の情報を生徒に伝え、グローバルに活躍する機運を高める。

①　進路選択の一つとして、総合型選抜入試に加え、海外大学が選べるような環境づくりを行う。

（4）　英語力測定と大学受験への活用を図るため、英検受験を推奨する。

①　全員英検２級取得

②　ＣＳＥスコア２２００点以上

③　英検準１級５０％以上の取得を目指す。

9　「高女イグナイト」による生徒への動機付け

（1）高女イグナイト係の職員を置く。係は、生徒や職員からの発案をまとめ、スケジュール表などを作成して広く生徒に周知する。

＊高女イグナイト：

高女イグナイトは、高女という日常空間に非日常の誰かと出会う機会をつくり、その機会が参加した人の何かしらの刺激となり、その人の心に火をつける機会をとなったら、という願いを込めて行う取り組みとして企画する。県のＳＡＨ事業から名称を受けて命名した。イグナイト（ｉｇｎｉｔｅ）とは火をつける、燃やすという意味である。

①　係は企画者とともに、階段踊り場の掲示板に「高女イグナイト」コーナーを作り、生徒に連絡をしたり、ＳＡＨ協働プラットホームなどを利用したりして宣伝をする。

②　高女イグナイトカレンダーは、学校ブログのトップに掲載する。

（2）生徒や職員の発案で、多様な外部講師を招き、放課後などを活用して講演会や座談会、相談会を行うことで、生徒のキャリア意識の涵養を図る機会とする。

①　必要に応じて係と企画者が実施日の調整を行う。

（3）高女イグナイトは、原則、講師謝金は無料のものとする。講師謝金が必要となる場合は、高女イグナイト基金を設置するなどして、資金の出所を整備して進める。

①　講師謝金・交通費が必要となる場合のために、高女イグナイト基金（ＰＴＡ予算から５０万円程度を計上予定）を設置する。

（4）高女イグナイトは、生徒や職員が自由に企画できるものとし、開催希望があればイグナイト係に相談して行う。生徒が企画する場合は、係に生徒が相談して行う。

① 企画内容については、原則どの企画も拒まない。政治的中立性などの配慮が必要となる場合は、講師にその旨を伝え配慮してもらう。

SAHの高女ならこんな力を身につけられます！

SAH 高崎女子高等学校

Student Agency High School

自ら学び、行動する力【自立】

「教わる」から「学ぶ」へ

＜自立心・メタ認知力＞

誰かのためになることを
新たに創造する力 【創造】

ここから社会を変える

＜探究力・挑戦力＞

多様な人々との対話を通し、
グローバルに活躍できる力【対話】

地域から世界、ぜんぶが私のフィールド！

＜人間性・粘り強さ・グローバル力＞

高女SAH・３つのKEY

０１．大学進学に最適化した学習プログラム

・対話を重視した双方向の授業＆自立学習のサポートで、「教わる」から「学ぶ」へ
・時間割の中に「学習を自分でデザインする」ための時間**“Ａタイム“**があります
・授業以外にも学習会や校内外のセミナー参加など、多様な学びの機会があります

０２．未来を創る・未来につながる探究活動

・社会の課題に気づき、どのようにアプローチしたら良いか、高女の探究ならではの“視点”を身に付けられます
・フィールドワークや調査活動を行う中で、よりよい社会を創造するための解決策を考え、実現を目指します
・希望者は週２時間の活動を行うゼミを選べ、**“より高度な探究活動”**に打ち込めます

０３．生徒が主体的に取り組む学校行事やグローバル活動

・伝統の文化祭である**“「椎樹祭」の毎年開催”**に向けて生徒が動き出しています
・開校記念式典を生徒が企画。OGをゲストに招き生徒との交流を計画しています
・グローバル研修を始めとした様々な国際交流活動に取り組む機会があります

★SAH "Student Agency High School"★
Agency(エージェンシー)とは、「自分の人生および周りの世界に対して良い方向に影響を与える能力や責任を持つこと。」SAHでは生徒のエージェンシーを重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することを目的としています。

Pick up! **“Aタイム”**
時間割の中にAタイム（Agency Time）が登場。気になっていた数学の問題にチャレンジ、探究活動のミーティング、検定や資格取得の準備・・・etc.
その時のあなたにとって、１番必要なことに使える時間です。
（令和６年度は年間15時間程度の実施予定）



Pick up! **“未来につながる高度な探究活動”**
昨今の大学入試では、総合型選抜（旧AO入試）など受験生を多面的・総合的に評価する入試の割合が年々増加しています。
高女の探究学習を軸とした学校内外での取組は、そのまま大学入試でのアピールポイントになります。
探究活動をより充実させるために、希望者は週２時間（通常は１時間）の活動を行うゼミも選択できます。

Pick up! **“文化祭の毎年開催”**
高女伝統の文化祭である「椎樹祭」は２年に１度の開催でした。有志生徒による「主体的な高女検討委員会」からの提案を受け、生徒の手による「椎樹祭」の毎年開催に向けて、動き出しています。



“Student Agency High School”の高女で
あなたの力を最大限伸ばしませんか？



高女ならこんな学びができます！

高いレベルの進路目標を実現するため、学習活動や探究活動、学校行事、部活動などにバランス良く取り組みます。

1. 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。
2. 豊かな社会を自らデザインし、創造する力を育てるため、課題を発見し、解決する探究的な活動を推進します。
3. グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が多様な人と交流・対話する機会を設けます。

高女ではこんなみなさんを待っています！

1. 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人。
2. よりよい社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人。
3. 自他の個性を認め、協働して物事に取り組む事で、自分の世界を広げたい人。

Q A

SAHの取組で学力は向上しますか

→SAHの取組は、県内有数の大学進学実績を誇る高女の取組を更に強化しようとするものです。効果的に学習に取り組めるよう、全員一律の課題や課外授業を見直し、生徒一人ひとりが最適な学習課題を設定できるよう支援していきます。また、定期テストや模擬試験のスケジュールの最適化や、英語検定に代表される外部試験受験へのサポートなども合わせ、希望の進路実現につなげます。

生徒の負担が増えませんか

→生徒が自立し主体的な取組を進めたり、社会との接点を持った高度な探究活動に取り組んだりすることで、生徒の負担が増えることも想定されます。「生徒に時間を返す」ため、Aタイムの導入の他、土曜授業の廃止や定期テストの実施科目の精選、模擬試験実施スケジュールの改善、効率的な部活動の運営等を行い、生徒が使える時間を確保していきます。

先生方はどのように生徒と関わりますか

→生徒の自立を促し主体性を育てることは、生徒の放任や生徒への丸投げとは全く違います。「○○しなさい」、「□□してはダメ」などの指示をするのではなく、「Aという方法の他にBというやり方もある」、「希望を実現するためには、どんな工夫が必要だろう」など、生徒の判断を促し、進もうとする生徒の背中をサポートするのが、先生方の役割です。

SAHは高女だけが取り組むものですか

→県全体の施策である「非認知能力の評価・育成事業」の一環として、非認知能力のうち、生徒エージェンシーに着目しSAHの取組を進めています。SAHの指定校として、他に、前橋南高校、伊勢崎高校があります。また、SAHの取組に賛同した、前橋高校、前橋女子高校、高崎高校、渋川高校、渋川女子高校、富岡高校が協力校となっています。

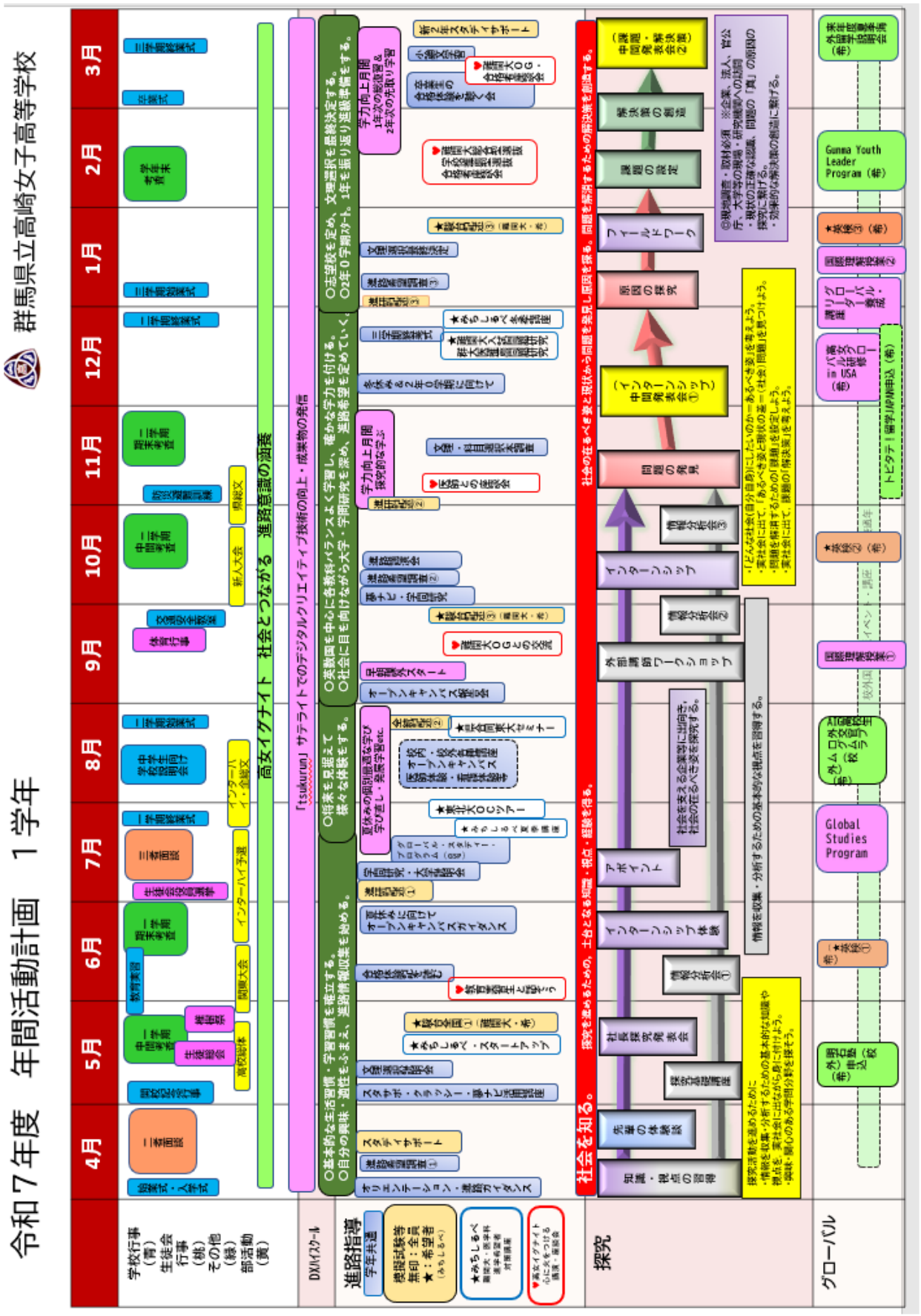
向学叡智・清楚品位・明朗闊達
高女の伝統にプラス

高崎女子高校
SAH

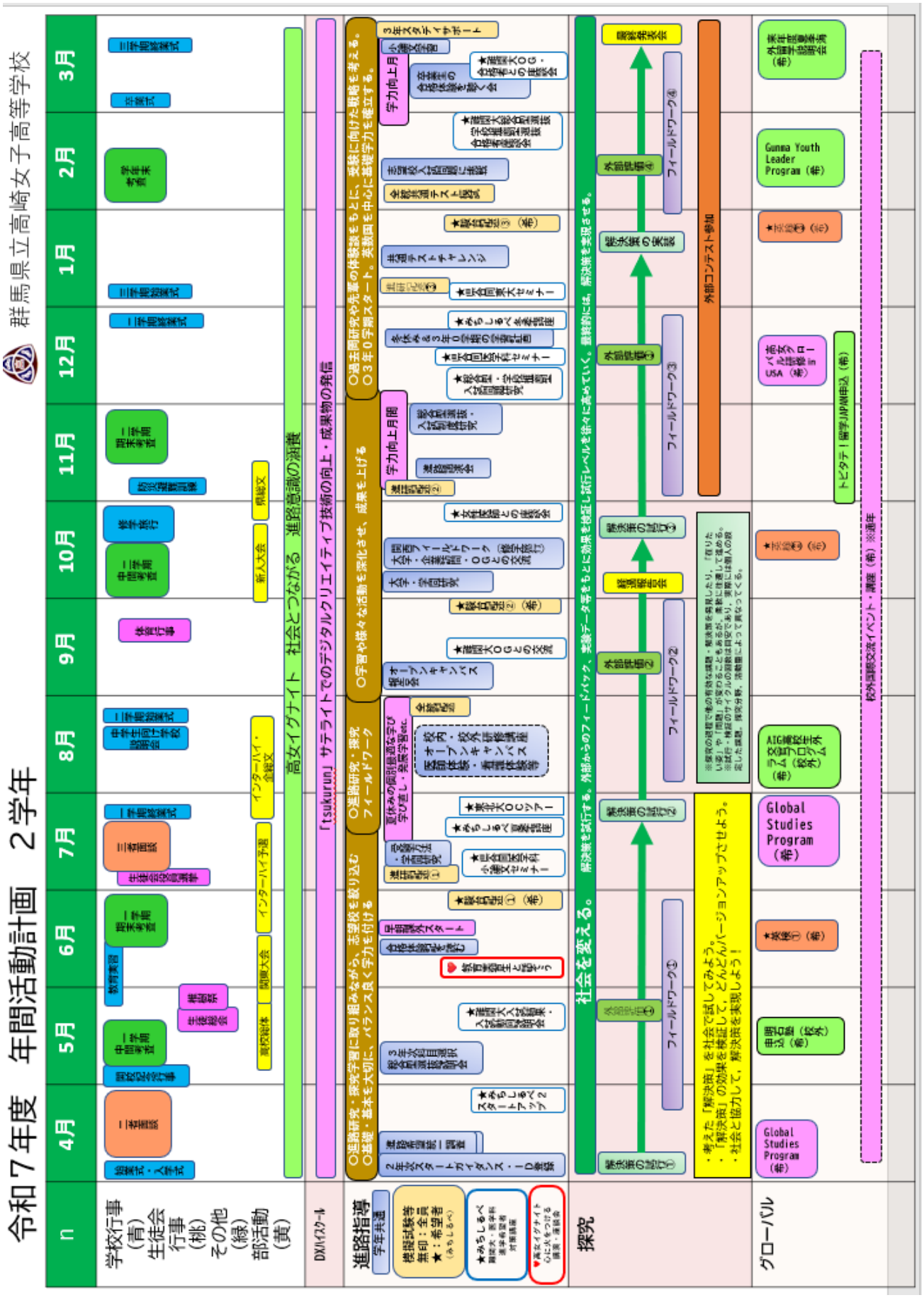
※ 本リーフレットの記載内容は、令和6年2月現在のものです。

(2) 令和 7 年度年間活動計画

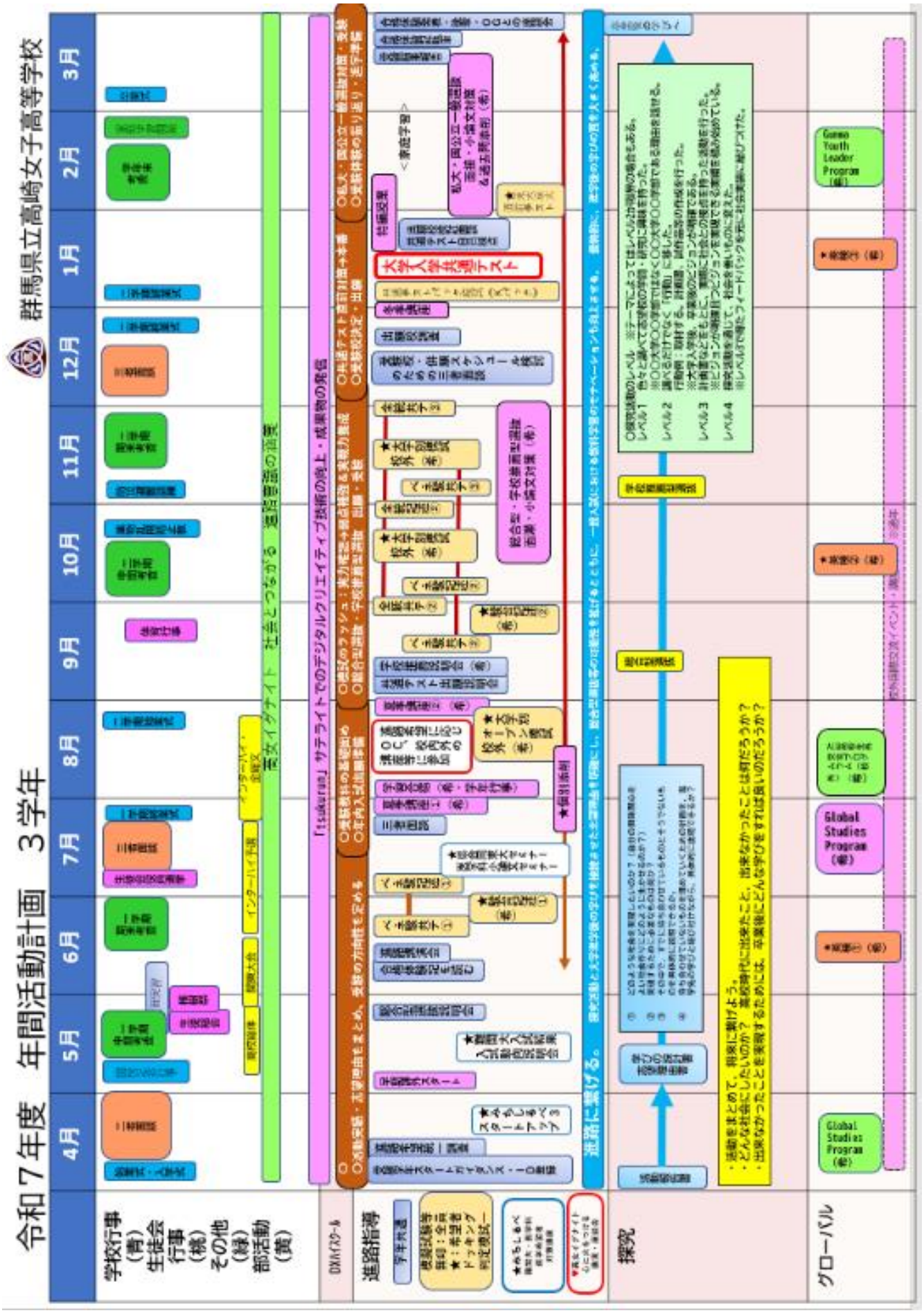
【1 年】



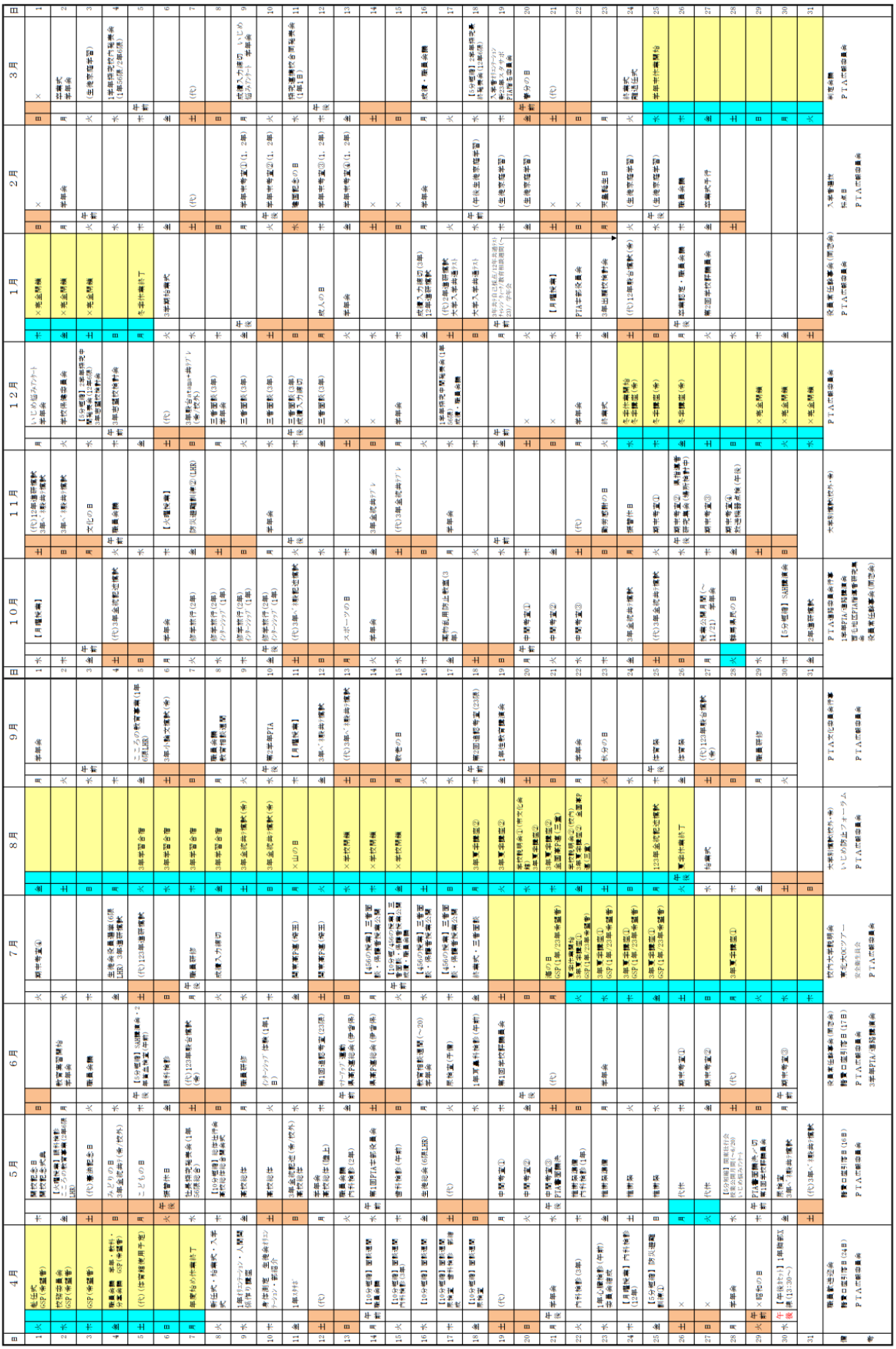
【２年】


群馬県立高崎女子高等学校
令和７年度　年間活動計画　２学年
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
学校行事（青）生徒会行事（桃）その他（緑）部活動（黄）
高女イグナイト　社会とつながる　進路意識の涵養
DXハイスクール
「tsukurun」サテライトでのデジタルクリエイティブ技術の向上・成果物の発信
進路指導
学年共通
模擬試験等
基印：全員
★：希望者
★あらしるべ
探究
社会を変える。
グローバル

【３年】


群馬県立高崎女子高等学校
令和７年度　年間活動計画　３学年
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
学校行事（青）生徒会行事（橙）その他（緑）部活動（黄）
DXハイスクール
進路指導
探究
グローバル
「issuu」サテライトでのデジタルクリエイティブ技術の向上・成果物の発信
「女イダネイト」社会とつながる 進路意識の涵養
進路に繋げる。
Gunma Youth Leader Program（緑）
Global Studies Program（緑）
Global Studies Program（緑）

（3）令和 7 年度年間行事予定表（20250218 現在）



群馬県立高崎女子高等学校　進路指導計画(椎樹プラン）令和７年度（2025年度）第１学年　＜7/2/27案＞

～高女のＧＰ(グラデュエーション・ポリシー)【自立】【対話】【創造】を達成するための，高校３年間を見通した進路プランニング～

１学年目標：高女生としての基礎・基本を身に付ける。

（１）自ら考え，学ぶ習慣を確立する　（２）探究活動や課外活動等に主体的に取組む　（３）社会のあり方と将来のキャリアについて考え，高い志を持つ。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動目標		＜高校生活のスタートダッシュ＞ ・学校生活に慣れ，授業を中心とした学習ペースを確立する。 ・探究活動における企業・職業探究と関連させながら，自分がやりたいこと，興味のあることを中心に職業や大学に関する情報を集め，将来について考える。			＜主体的に学ぶ＆様々な活動に挑戦＞ ・主体的に計画を立てて学習し，高校生活の学びの土台を固める。 ・校内・校外の活動に積極的に参加し，様々な経験をしながら，自己を高める。		＜勉強・部活動・行事＆探究インターンシップの並立＞ ・様々な活動と勉強とを並立し，英数国を中心に主体的な学習サイクルを確立し，苦手科目・苦手分野を作らないようにする。 ・将来の職業選択も踏まえ，文系・理系それぞれにどんな学問があるかを知り、文理選択を考える。		＜２年０学期のスタート＞ ・２年次の文理選択および志望校・志望分野の方向性を決定する。 ・全国レベルで自分の学力を把握し，志望校合格に向けて何をするべきかを具体的に考える。 ・各教科の基礎・基本を確認・徹底し，レベルアップをはかる。 ・１年次を振り返り，様々な活動の記録をまとめ，２年次に向けて目標を立てる。			
主な学校行事		入学式 部活動入部	開校記念式典 高校総体 生徒総会 椎樹祭(文化祭)	教育実習 生徒会選挙 インターハイ県予選	三者面談 1学期終業式 夏休み開始	高女学校説明会 夏休み終了 2学期始業式	高女オープンキャンパス 体育祭	1年インターンシップ 2年修学旅行 学年PTA	＜学力向上月間＞	2学期終業式 冬休み	3学期始業式 ＜大学入学共通テスト＞	高校入試 （家庭学習） ＜学力向上月間＞	卒業式
定期考査			1学期中間	1学期期末				2学期中間	2学期期末			学年末	
校外模試 ★学びの基礎診断	全員	★ベネッセスタサポ			★進研総合学力テスト	全統記述模試模試			★進研総合学力テスト		★進研総合学力テスト		★ベネッセスタサポ(新2年)
	希望者			駿台全国模試	（スタサプ到達度テスト）		駿台全国模試				駿台全国模試		
☆探究・グローバル 英検(S-CBTは年間実施) 目標級：準2級～2級		☆夏休みの短期海外研修学説明会	☆社長探究発表会	☆インターンシップ （プレ体験） 英検第1回	☆ＧＳＰ(グローバル・スタディ・プログラム)			☆インターンシップ 英検第2回		☆探究中間発表会	英検第3回	☆ＹＬＰ(ユースリーダープログラム)	☆探究発表会 （校内・合同）
学年共通プログラム 進路行事 進路学習 課外学習	○進路行事 ◎面談・調査 ●授業・課外 ＜各自参加＞	○進路ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ ◎進路希望調査① ◎二者面談 ◎進路関係アプリ登録 マナビジョン・ Classi・夢ナビ等	◎文理選択予備調査	●進研模試に向けて （国数英）	◎三者面談 ◎夏休みの学習計画	＜進路・探究に関連するフィールドワーク/オープンキャンパス・各種研修講座・セミナー・インターンシップなど＞	●早朝課外開始 （希望者　英数国の基礎･発展）	○進路講演会 (学年保護者会と合同)	◎文理選択本調査	◎冬休み・2年0学期の学習計画 ●進研過去問チャレンジ	◎進路希望調査③ ●共通テストチャレンジウィーク		●小論文学習
	＊ＬＨＲ 進路学習 (金６限)	＊進路学習① ・学問研究	＊進路学習② （スタサポ・Classi活用）	＊進路学習④ ・文理選択説明会① ＊進路学習⑤ ・合格体験記を読む ＊進路学習⑥ ・オープンキャンパスに向けて	＊進路学習⑦ ・大学・学問研究 ＊進路学習⑧ ・夏休みの学習計画	＊進路学習⑨ ・オープンキャンパス報告会	＊進路学習⑩ ・7月進研振り返り	＊進路学習⑪ ・8月全統振り返り ＊進路希望調査② ＊進路学習⑫ ・進路講演会	＊進路学習⑬ ・総合型選抜について ＊進路学習⑭ ・文理選択説明会②	＊進路学習⑮ ・1月進研模試に向けて ＊進路学習⑯ ・11月進研振り返り	＊進路学習⑯ ・共通テストを知る① ＊進路学習⑰ ・共通テストを知る②	＊進路学習⑱ ・過去問チャレンジ ・2～3月の学習計画	進路学習⑲ ・1月進研振り返り ＊進路学習⑳ ・卒業生の合格体験を聴く会
希望者対象プログラム 大学別対策 研修講座 セミナー等	みちしるべ 難関大 医学科 希望者講座		難関大・医学科へのみちしるべ① スタートアップ講座	難関大・医学科へのみちしるべ② 駿台模試事前講習	難関大・医学科へのみちしるべ③ 希望者夏季講座・課題		難関大・医学科へのみちしるべ④ 駿台模試事前講習		難関大・医学科へのみちしるべ⑤ ・入試過去問講座 ・医学科推薦講座	難関大・医学科へのみちしるべ⑥ 希望者冬季講座・課題	難関大・医学科へのみちしるべ⑦ 駿台模試事前講習	難関大・医学科へのみちしるべ⑧ 高校入試家庭学習機関の課題	難関大・医学科へのみちしるべ⑧ 希望者春季講座・課題
	イグナイト 各種セミナー ◆校内 ◇校外 （その他）		＜年間・夏休みの校外プログラム案内＞ ※以降随時案内	◆教育実習生との座談会	◆校内大学説明会 ◇東北大OCツアー ＜夢ナビライブ＞	◇夏の医師体験 ふれあい看護体験 ◇東大セミナー(県内高校合同・現地開催)	◆難関大学に在籍するOGとの座談会	＜夢ナビライブ＞	◆医師との座談会 (県医務課提供講座)			◆総合型・学校推薦合格者との座談会	◆難関大合格者・OGとの座談会 ◇春の医師体験

＊難関大対策の主な対象大学：難関国立10大学（東大・京大・一橋大・東工大・阪大・東北大・名大・北大・九大・神戸大）
＊医学科対策の主な対象大学：国公立大医学部医学科50校＋防衛医科大学校＋自治医科大の計52大+B22学

群馬県立高崎女子高等学校　進路指導計画(椎樹プラン）令和7年度（2025年度）第2学年　＜7/2/27案＞

～高女のＧＰ(グラデュエーション・ポリシー)【自立】【対話】【創造】を達成するための，高校３年間を見通した進路プランニング～

２学年目標：学び・探究の質を高め、自らの可能性を主体的に追求する

（１）バランスよく総合的な学力を身に付ける　（２）探究活動・課外活動を深化させ，総合型選抜等に生かせる成果を出す　（３）よりよい社会を創造する高い志を持ち、実現に向けて行動する

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動目標		＜２年次の見通しを立て，活動のベースを創る＞ ・将来就きたい職業や学びたい学問分野を絞り込み、志望校の候補を絞り込む。 ・「総合的な探究の時間」の探究テーマを決定し、大まかな探究の見通しを立てる。 （進路目標・志望校・志望分野とリンクしたテーマが望ましい。） ・志望校・併願校候補の受験科目を調べ、3年次の科目選択を考える。				＜勉強＆様々な活動の充実・深化＞ ・教科のバランスに注意しながら、総合的に学力を高めていく。 ・進路目標を意識しながらフィールドワークを行い、探究活動を進める。 ・志望校の入試のしくみや制度を理解し、受験戦略を考える。			＜受験生に意識を切り替える＞ ・３年０学期スタート ・３年次科目選択決定	＜学習の振り返り＆活動成果のまとめ⇒⇒受験に生かす＞ ・共通テストチャレンジ・過去問研究を通し、志望校合格に向けてやるべきことを確認する。 ・各教科・科目の弱点分野を残さず基礎・基本を徹底し，受験学年に向けた準備を行う。 ・志望校の志望理由と結びつけながら、探究活動の成果をまとめる。		
主な学校行事		始業式 部結成	開校記念式典 高校総体 生徒総会 椎樹祭(文化祭)	教育実習 生徒会選挙 インターハイ県予選	三者面談 1学期終業式・夏休み開始	高女学校説明会 夏休み終了・2学期始業式	高女オープンキャンパス 体育祭 学年PTA 修学旅行説明会	修学旅行	学力向上月間	2学期終業式 冬休み	3学期始業式 (共通テスト)	高校入試 (家庭学習)	卒業式
定期考査			1学期中間	1学期期末				2学期中間	2学期期末			学年末	
業者模試 ★学びの基礎診断	全員				★進研総合学力テスト	全統記述模試模試			★進研総合学力テスト		★進研総合学力テスト	駿台全国模試	★ベネッセスタサポ(3年)
	希望者			駿台全国模試	（スタサプ到達度テスト）		駿台全国模試						
☆探究・グローバル 英検(S-CBTは年間実施) 目標級：2級～準1級		☆夏休みの短期海外研修学説明会	☆社長探究発表会	☆インターンシップ （プレ体験） 英検第1回	☆ＧＳＰ(グローバル・スタディ・プログラム)			☆インターンシップ 英検第2回		☆探究中間発表会	英検第3回	☆ＹＬＰ(ユースリーダープログラム)	☆探究発表会 （校内・合同）
学年共通プログラム 進路行事 進路学習 課外学習	○進路行事 ◎面談・調査 ●授業・課外 ＜各自参加＞	◎二者面談 ◎進路関係アプリ登録内容確認		●早朝課外スタート （希望者・５教科） ●進研模試に向けて	◎夏休みの学習計画 ◎三者面談 ○夏季学習会	＜進路・探究に関連するフィールドワーク/オープンキャンパス・各種研修講座・セミナー・インターンシップなど＞	（修学旅行準備）	○関西の大学見学（修学旅行・班別自由研修）	◎科目選択本調査	◎冬休み・3年0学期の学習計画	●共通テストチャレンジウィーク ●駿台模試事前講習"		●小論文学習 ＜志望理由書を書いてみよう＞
	＊ＬＨＲ 進路学習 (金６限)	＊進路学習① ・スタサポ振り返り ・進路希望調査① ＊進路学習② ・入試制度について ・総合型選抜について	＊進路学習③ ・科目選択説明会	＊進路学習④ ・合格体験記を読む ＊進路学習⑤ ・学問研究・ＯＣ事前学習	＊進路学習⑥ ・夏休みに向けて	＊進路学習⑦ ・オープンキャンパス報告会	＊進路学習⑨ ・7月進研振り返り ＊進路学習⑨ ・関西の大学研究 ・夢ナビ	＊進路学習⑩ ・8月全統振り返り	＊進路学習⑪ ・進路講演会 ＊進路学習⑫ ・総合型選抜について調べる	＊進路学習⑬⑭ ・大学入試過去問チャレンジ ＊進路学習⑮ ・11月進研振り返り	＊進路学習⑯ ・共通テストについて	＊進路学習⑰ ・総合型・学校推薦型選抜合格者の話を聴く ＊進路学習⑱ ・年度末の学習	＊進路学習⑲ ・模試の振り返り ＊進路学習⑳ ・卒業生の合格体験を聴く
希望者対象プログラム 大学別対策 研修講座 セミナー等	みちしるべ 難関大 医学科 希望者講座	難関大・医学科への みちしるべ① 2ndスタートアップ	難関大・医学科への みちしるべ② R7入試結果説明会 （高女・全国）	難関大・医学科への みちしるべ③ 駿台模試事前講習	難関大・医学科への みちしるべ④ 希望者夏季講座・課題		難関大・医学科への みちしるべ⑤ 駿台模試事前講習	難関大・医学科への みちしるべ⑥ 関西難関大在籍OGとの交流(京大・阪大等)	難関大・医学科への みちしるべ⑦ 大学入試過去問研究	難関大・医学科への みちしるべ⑧ 群大医推薦入試研究 希望者冬季講座・課題	難関大・医学科への みちしるべ⑨ 駿台模試事前講習	難関大・医学科への みちしるべ⑩ 高校入試家庭学習機関の課題	難関大・医学科への みちしるべ⑪ 希望者春季講座・課題
	イグナイト 各種セミナー ◆校内 ◇校外 （その他）		＜年間・夏休みの校外プログラム案内＞以降随時案内	◆教育実習生との懇談会	◆校内大学説明会 ◇東北大ＯＣツアー ◇県高校合同医学科小論文講座 ＜夢ナビライブ＞	◇インターンシップ （希望者　医療機関・公共機関等）	◆難関大OGとの座談会	＜夢ナビライブ＞	◆医師との座談会 (県医務課提供講座) ＜ユニフェスオンライン＞			◆総合型・学校推薦合格者との座談会	◆難関大合格者・OGとの座談会 ◇春の医師体験

＊難関大対策の主な対象大学：難関国立10大学（東大・京大・一橋大・東工大・阪大・東北大・名大・北大・九大・神戸大）
＊医学科対策の主な対象大学：国公立大医学部医学科50校＋防衛医科大学校＋自治医科大の合計52大学

群馬県立高崎女子高等学校　進路指導計画(椎樹プラン）令和7年度（2025年度）3学年

～高女のＧＰ(グラデュエーション・ポリシー)【自立】【対話】【創造】を達成するための，高校３年間を見通した進路プランニング～

３学年目標：高いレベルの進路実現を目指し、自らの力で走り出す。

1．基礎基本の完成→実戦力・応用力を身に付ける　2．自分の強みを生かす受験プランを立て、受験をとおしての成長をはかる。　3．自立した学習者として新しい世界へ羽ばたく

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動目標		＜受験学年のスタートダッシュ・受験方針の決定＞ ・授業を核として，基礎学力の完成と受験に向かう態勢を確立する。 ・最終学年として部活動や学校行事等に全力を尽くす。 （→部活動引退後は学習・生活時間を受験生モードに切り替える） ・志望校群の入試要項を確認し，受験対策を進める。			＜夏に伸びる・基礎を固める＞ ・夏休みの学習計画を立て、実行する。 ・基礎固め＆抜け漏れ・弱点補強 ・志高く仲間とともに学びながら意欲を高める。 ・総合型・学校推薦型選抜の出願準備を行う		＜模試ラッシュ・年内入試スタート/総合力をつける＞ ・共通テスト・個別試験対策をふまえ，総合演習を行う。 ・総合型・学校推薦型選抜スタート。一般選抜対策と並立・共存をはかりながら受験に臨む。 ・模試で全国的な学力を確認しながら、基礎の確認と実戦力・応用力の養成をしていく。			＜受験勉強のラストスパート＞ ・志望校を諦めない気持を保ち、演習に取り組む ・本番のトライアルを繰り返し，本番の試験に耐える思考力を養う ・併願校含む受験校を決定し、出願手続を進める		＜一般入試本番＞ ・各々の受験計画に従い，受験校別に対策を行う。	＜卒業⇒それぞれの道へ＞ ・現役合格を最後まで諦めすない。 ・新生活の準備をする。
主な学校行事		始業式 部結成	開校記念式典 高校総体 生徒総会 椎樹祭(文化祭)	教育実習 生徒会選挙 学年PTA インターハイ県予選	三者面談 1学期終業式・夏休み開始	高女学校説明会 夏休み終了・2学期始業式	高女オープンキャンパス 体育祭		学力向上月間	三者面談 2学期終業式 冬休み	3学期始業式 大学入学共通テスト	2/11～家庭学習 高校入試	卒業式
大学入試関係スケジュール				私大入試要項発表 日本学生支援機構予約奨学生申込	国公立大入試要項発表	大学説明会 オープンキャンパス	共通テスト受験案内配布 総合型選抜開始 指定校一覧公開	共通テスト出願 学校推薦校内選考	総合型選抜合格発表 学校推薦型選抜開始	学校推薦型選抜合格発表 共通テスト受験票配付 総合型・推薦Ⅱ期 スカラシップ選抜など	1/17・18大学入学共通テスト 私大一般選抜出願 国公立大出願	私大一般選抜 国公立大前期日程	私大3月入試 公立大中期日程 国公立大後期日程
定期考査			1学期中間		1学期期末			2学期中間	2学期期末(3年学年末)				
業者模試 ★学びの基礎診断 ◎授業カットあり	全員		◎進研共テ模試	進研総合記述模試		※大学別模試、スタサプ到達度テストなど、各自必要な模試を会場またはオンラインで受験	◎ベネ駿共テ模試 ◎全統共テ模試	ベネ駿記述模試全統記述模試	◎ベネ駿共テプレ ◎全統共テプレ		共通テスト直前演習 （Kパック）		
	希望者		全統共テ模試 全統記述模試	駿台全国模試	小論文模試		駿台全国模試 小論文模試		大学別オープン模試 (校外会場)	駿台atama+共テプレ	東大京大直前テスト		
☆探究・グローバル 英検(S-CBTは年間実施) 目標級：2級上位レベル～準1級以上		☆志望理由書を書く	☆小論文学習	☆小論文学習 英検第1回	☆小論文学習			英検第2回			英検第3回		
学年共通プログラム 進路行事 進路学習 課外学習	○進路行事 ◎面談・調査 ●授業・課外 ＜各自参加＞	◎二者面談	●早朝課外スタート （希望者・希望科目）	○総合型選抜説明会 (総合的な探究の時間) ●放課後課外スタート （希望者・希望科目）	◎夏休みの学習計画 ◎三者面談(希) ●夏季講座①(希) ＜ユニフェス＞	○学習合宿(希) ●夏季講座②(希) ＜ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ＞ ＜ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ＞ ＜総合型出願準備＞	○学校推薦説明会(希) ○共テ受験案内配付	○共通ﾃｽﾄﾊﾟｯｸ販売 (希)	◎併願パターン研究 ＜ユニフェス＞	◎三者面談(希) ●冬季講座(希) ○共通ﾃｽﾄ直前期の心構え	○共通テスト前集会 ◎自己採点・共テリサーチ ○出願校検討会	◎受験結果報告 （共テ利用・私大一般）	◎受験結果報告 （国公立・私大後期） ＜合格体験記執筆＞ ○合格体験を語る
	＊ＬＨＲ 進路学習 （金６限）	＊進路学習① ・スタサポ振り返り ・進路希望調査①		＊進路学習② ・進路講演会 ＊進路学習③ ・合格体験記を読む	＊進路学習④ ・夏休みに向けて	＊進路学習⑤ ・夏休みの学習振り返り	＊進路学習⑥ ・共通テスト出願説明 ＊進路学習⑦ ・併願パターン研究 （国公立）	＊進路学習⑧ ・併願パターン研究 （私立） SC講演会 ・受験生のメンタルケアについて	進路学習⑨ ・受験スケジュールを進路学習⑩ ・受験スケジュールを立てる	進路学習① ・出願校調査	進路学習⑫ ・共通テスト準備		
希望者対象プログラム 大学別対策 研修講座 セミナー等	みちしるべ 難関大 医学科 希望者講座	難関大・医学科へのみちしるべ① ファイナルステージ スタートアップ	難関大・医学科へのみちしるべ② R7入試結果説明会 （高女・全国）	難関大・医学科へのみちしるべ③ 二次対策に向けて 個別添削説明会	難関大・医学科へのみちしるべ④ 希望者夏季講座・課題 大学別模試事前講習	難関大・医学科へのみちしるべ⑤ 希望者夏季講座・課題	難関大・医学科へのみちしるべ⑥ ・大学別対策講座 ・群大医推薦対策講座 （メディカルドラゴン）	難関大・医学科へのみちしるべ⑦ 大学別模試振り返り		難関大・医学科へのみちしるべ⑧ 冬季講習・課題	難関大・医学科へのみちしるべ⑨ 出願面談	難関大・医学科へのみちしるべ⑩ 直前対策	
	イグナイト 各種セミナー ◆校内 ◇校外 （その他）			◆教育実習生との懇談会	◆校内大学説明会 ◇東北大OCツアー ◇県高校合同医学科小論文講座 ＜夢ナビライブ＞	◇インターンシップ （希望者　医療機関・公共機関等）	◆難関大OGとの座談会	◇医師による面接講座 (県内各協力病院)	◆医師との座談会 (県医務課提供講座)		◇自治医大・私立医大面接(MMI)・討論対策 医師による面接講座 (県内各協力病院)	◆合格体験発表	◆合格体験記執筆

大学入試に必要な英語外部試験のスコアは申込〆切日や合格証明書発行日を考慮して、できるだけ早めになるべく1学期のうちに受験・取得しておくことが望ましい

総合型・学校推薦型選抜合格者は英検・TOEIC等のスコア取得を目標に、大学入学まで英語学習を継続しよう

特編授業

総合型・学校推薦型選抜　面接・小論文指導

一般選抜　面接・小論文指導

個別添削（早期・入試直前期）

＊難関大対策の主な対象大学：難関国立10大学（東大・京大・一橋大・東工大・阪大・東北大・名大・北大・九大・神戸大）　＊早期個別添削の対象大学：難関国公立10大学＋筑波・お茶の水女子など
＊医学科対策の主な対象大学：国公立大医学部医学科50校＋防衛医科大学校＋自治医科大の合計52大学＋私立医大

(5) 進路：令和 7 年度模試・課外等計画表

令和7年度　進路指導部　模試・課外等実施計画（案）

1　考査・全国模試等年間計画　定期考査ごとに各教科の学習内容の定着をはかり、模試をベースメーカーとして全国レベルの実力をつけていこう。

★日付未定または随時受験可能　◎午後授業カット（共通テスト模試）　みちしるべ：難関大対策講座

	1年			2年			3年		
	定期考査 学びの基礎診断 課外等	全国模試		定期考査 学びの基礎診断 課外等	全国模試		定期考査 学びの基礎診断 課外等	全国模試	
		全員	希望者		全員	希望者		全員	希望者
4月	12(金)ベネッセ スタディサポート	（オンラインテスト） ★スタサプ到達度テスト （全員） ★駿台atama+ 学判テスト(希望者)		(前年度3/21) ベネッセスタディ サポート	（オンラインテスト） ★スタサプ到達度テスト （全員） ★駿台atama+ 学判テスト(希望者)		(前年度3/21) ベネッセスタディ サポート	（オンラインテスト） ★スタサプ到達度テスト （全員） ★駿台atama+共テ模試 （希望者）	
5月	19(月)～21(水) 1学期中間考査			22(水)～24(金) 中間考査			22(水)～24(金) 中間考査	◎30(金)31(土) ベネッセ共テ	
6月			7(土) 駿台記述	(早朝課外開始)		7(土) 駿台記述			7(土) 駿台記述
	26(木)～7/1(火) 1学期期末考査			25(火)～29(金) 期末考査			25(火)～28(金) 期末考査		
7月	★みちしるべ	5(土) ベネッセ記述			5(土) ベネッセ記述			4(金)5(土) ベネッセ記述	★小論文模試
	GSP 22(火)～25(金)			★みちしるべ			22(金)～28(月) 夏季講座①	★大学別模試など各自必要な模試を申込み受験する。	
8月							5(火)～8(金) 学習合宿(希)		9(土)10(日) 全統共テ
		25(月) 全統記述			25(月) 全統記述				25(月) 全統記述
9月	(早朝課外開始)							◎12(金)13(土) ベネ駿共テ	★小論文模試
			27(土) 駿台記述			27(土) 駿台記述			27(土) 駿台記述
10月	20(月)～22(水) 2学期中間考査			20(月)～22(水) 2学期中間考査			20(月)～22(水) 2学期中間考査	4(土)全統記述 11(土)ベネ駿記述	
								◎24(土)25(日) 全統共テ	
11月		2(土) ベネッセ記述		1(金)ベネッセ記述(英数国)	2(土)ベネッセ記述(理社)			◎1(金)2(土) ベネ駿共テプレ	★大学別模試 (校外会場)
	25(火)～28(金) 2学期期末考査			25(火)～28(金) 2学期期末考査			25(火)～28(金) 2学期期末考査	◎22(金)23(土) 全統共テプレ	
12月	24(水)～26(金) みちしるべ			24(水)～26(金) みちしるべ			24(水)～26(金) 冬季講座		★駿台atama+共テプレ（校外会場orオンライン）
1月	16(金) ベネッセ記述			16(金)ベネッセ記述(英数国)	17(土)ベネッセ記述(理社)		6(火)7(水) 共テKパック	17(土)･18(日) 大学入学 共通テスト	
	★共テチャレンジウイーク		24(土) 駿台記述	★共テチャレンジウイーク		24(土) 駿台記述			★東大・京大直前テスト
2月	9(月)～13(金) 学年末考査			9(月)～13(金) 学年末考査			11(水)～ 家庭学習		
	18(水)午後～ 25(水)家庭学習			18(水)午後～ 25(水)家庭学習					
3月	19(金)ベネッセ スタサポ（新2年 第1回）	★小論文模試		19(金)ベネッセ スタサポ（新3年 第1回）	★小論文模試			2/25(水)～国公立前期日程 3/8(日)～公立中期日程 3/12(木)～国公立後期日程	

2　小論文模試

1，2年生は国語の授業またはLHR等で添削付の小論文模試を教材として小論文学習を行う。3年生は希望者を対象に受験対応の力をはかる模試を実施する。

3　課外

①早朝課外(7:30～8:20)・・・3年は継続・新規講座はGW前後から実施、2年は1学期中間考査後、1年は2学期からそれぞれ開始（希望者対象、基礎・発展）
②放課後課外・・・3年生の希望者を対象として、理科・地歴公民・情報等を含む目的別の講座を開講する（高校総体終了後～）
③難関大へのみちしるべ・・・123年生の希望者対象。年間をとおして随時設定（定期考査終了後、希望者対象ハイレベル模試の前、連続休業日前など）。

4　長期休業中の講座

①夏季講座・・・①前期：7月22日(金)～28(月)の5日間(3年希望者対象)　※1年と23年希望者対象でGSP(グローバル・スタディ・プログラム)を実施
②後期：8月18日(月)～22(金)の5日間(3年希望者対象)
②冬季講座・・・12月24日(水)～26日(金)の3日間（1,2年難関大へのみちしるべ(希望者)，3年希望者対象）

5　土曜講座

令和6年度より廃止。

6　模試・課外手当

土日・早朝勤務時間外の実施分について規定により支給（早朝：2800円/50分　模試：33円/分(解答時間のみ支給、志望校登録時間等は含めない)）

（6）進路：令和 7 年度模試計画＆日程調整案

高崎女子高校 第1学年全国模試 年間実施スケジュール（案）　　黒印：マーク　白印：記述

校内実施：○●全員必須 ◇◆授業で実施　△▲希望者・推奨　☆★校外またはオンライン受験(任意) ✦掲示のみ(任意申込) ×受験不要

No	実施月	模試名称	R6	実施目的など	国公私立標準	私立最難関（単願）	国公立難関（ブロック・日程）	国公立最難関（東京一科）
1	4月	スタディサポート	●	学習到達ゾーン(GTZ)による目標設定・学習状況リサーチ	●	●	●	●
2	6月	駿台全国高1模試	×	難関大志望者の早期動機付け（R6は全統模試を実施）	×	△	△	必須△
3	7月	進研総合学力テスト	○	高校初期段階での学習到達度を測定（学びの基礎診断）	○	○	○	○
4	8月	全統高１模試	○	夏休みの学習成果を測定。夏休み最終日に実施	○	○	○	○
5	9月	駿台全国高1模試	△	難関大志望者の学年後半に向けての実力養成・目標設定	×	△	△	必須△
6	11月	進研総合学力テスト	○	２学年進級に向けて学習到達度を測定（学びの基礎診断）	○	○	○	○
7	1月	進研総合学力テスト	◇	３学年進級に向けて学習到達度を測定（学びの基礎診断）	◇	◇	◇	◇
8		(共通テストチャレンジウイーク)	×	共通テスト問題にチャレンジ（共テ後に授業・LHRで実施）	◆	◆	◆	◆
9		駿台全国高２模試	△	難関大レベル発展・応用力を確認する	×	△	△	必須△
10	3月	小論文学習	◇	小論文の書き方を学び、基礎的な小論文の力を診断する。	◇	◇	◇	◇
11	年６回	駿台atama+学力判定テスト	★	基礎学力定着を目的とした教科書レベルのオンラインテスト	★	★	★	★
12	随時掲示	全統高1模試(5，10，1月)	✦	進研模試より進学校の受験が多い。8月以外は校外で任意受験	✦	✦	✦	✦
13		東進全国統一高校生テスト	✦	共通テスト・大学別早期対応模試など、校外会場受験(任意)	✦	✦	✦	✦
14		その他東進模試	✦	様々なタイプの模試があり、実施回数が多い	✦	✦	✦	✦

・希望する進路により年間5回～8回の模試を受験する（共通テストチャレンジ、小論文模試、任意受験の模試は除く）実施科目は英数国のみ

高崎女子高校 第2学年全国模試 年間実施スケジュール（案）　　黒印：マーク　白印：記述

校内実施：○●全員必須 ◇◆授業で実施　△▲希望者・推奨　☆★校外またはオンライン受験(任意) ✦掲示のみ(任意申込) ×受験不要

No	実施月	模試名称	R6	実施目的など	国公私立標準（就職・専門希望者含む）	私立最難関（単願）	国公立難関（ブロック・日程）	国公立最難関（東京一科）
1	前年度3月	スタディサポート	●	学習到達ゾーン(GTZ)による目標設定・学習状況リサーチ	●	●	●	●
2	6月	駿台全国高1模試	△	難関大志望者の早期動機付け	×	△	△	必須△
3	7月	進研総合学力テスト	○	高2初期段階での学習到達度を測定（英数国・学びの基礎診断）	○	○	○	○
4	8月	全統高２模試	○	夏休みの学習成果を測定。夏休み最終日に実施（英数国）	○	○	○	○
5	9月	駿台全国高２模試	△	難関大志望者の学年後半に向けての実力養成・目標設定	×	△	△	必須△
6	11月	進研総合学力テスト	○	3年進級に向けて学習到達度を測定（学びの基礎診断・5教科）	◇○	◇○	◇○	◇○
7	1月	進研総合学力テスト	◇	3年進級に向けて学習到達度を測定（学びの基礎診断・5教科）	◇○	◇○	◇○	◇○
8		(共通テストチャレンジウイーク)	◆	共通テスト問題にチャレンジ（共テ後に授業・LHRで実施）	◆	◆	◆	◆
9		駿台全国高２模試	△	難関大レベル発展・応用力を確認する	×	△	△	必須△
10	3月	小論文学習	◇	小論文の書き方を学び、基礎的な小論文の力を診断する。	◇	◇	◇	◇
11	年６回	駿台atama+学力判定テスト	★	基礎学力定着を目的とした教科書レベルのオンラインテスト	★	★	★	★
12	随時掲示	全統高2模試(5，10，1，2月)	✦	進研模試より進学校の受験が多い。8月以外は校外で任意受験	✦	✦	✦	✦
13		東進全国統一高校生テスト	✦	共通テスト・大学別早期対応模試など、校外会場受験(任意)	✦	✦	✦	✦
14		その他東進模試	✦	様々なタイプの模試があり、実施回数が多い	✦	✦	✦	✦

・就職希望者も含め、希望する進路により年間5回～8回の模試を受験する（共通テストチャレンジ、小論文模試、任意受験の模試は除く）

諫崎女子高校 第3学年 大学受験模試 年間実施スケジュール（案）

黒印：マーク　白印：記述　網掛け実施・案内ともになし

校内実施：○●全員必須(8月以降は進学希望者のみ)　△▲(希望者)　校外会場☆★(希望者・推奨)　＊任意受験・案内掲示のみ　×実施なしor受験不要

No	実施月	模試名称	R6	実施目的など	就職専門等	国公私立標準	私立最難関(早慶)	国公立難関(1ブロック～四帯)	国公立最難関(東京一帯)
1	前年度3月	スタディサポート	●	学習到達ゾーン(GTZ)による目標設定・学習状況リサーチ	●	●	●	●	●
2	4月	進研総合学力記述①	×	年間の5教科記述模試。実施校少なく偏差値高めに出る	×	×	×	×	×
3	5月	全統共通テスト①	▲	年間の共通テスト模試。公開会場（校外）で受験	×	★	★	★	★
4		全統記述①	△	年間の記述模試。公開会場（校外）で受験	×	★	★	★	★
5		進研共通テスト	●	7月三者面談の共通資料。直前に文化祭・1学期中間考査あり	●	●	●	●	●
6	6月	駿台全国記述①	△	都関大未記者対象。約50名受験。	×	×	△	△	△
7	7月	進研総合学力記述②	○	原則として5教科受験。総合的な基礎学力の達成度をみる	○	○	○	○	○
8		小論文模試①	△	英文を含む複数のテーマから選択して出題。	×	△	△	△	△
9	8月	全統共通テスト②	▲	学習合宿後に受験。8月記述、大学別模試とドッキング判定	×	▲	▲	▲	▲
10		河合塾大学別オープン	☆	東大・京大・名大・早慶等。栃木か埼玉県の会場で受験。	×	×	×	(☆)	☆
11		駿台大学別実戦模試	☆	東大・京大等。県内にも会場あり	×	×	×	(☆)	☆
12		全統記述②	○	夏休み最終日に実施。（R6～夏休み明け学力テスト廃止）	×	△	△	△	△
13	9月	ベネ駿共通テスト①	●	ベネッセ・駿台共催。出題範囲は現役生に配慮。	×	●	●	●	●
14		駿台全国②	△	都関大未記者対象。50名程度が受験。	×	×	△	△	△
15		小論文模試②	△	総合型・学校推薦型選抜の準備期に受験。返却時期注意。	×	△	△	△	△
16	10月	全統共通テスト③	●	10月記述・11月オープンとドッキング判定。	×	●	●	●	●
17		ベネ駿記述	○	必要科目3科目以上受験。中下位層～駿台生まで受験層広い	×	○	○	○	○
18		全統記述③	○	必要科目3科目以上受験。ベネ駿より母集団がややハイレベル	×	○	○	○	○
19	11月	ベネ駿プレ共通テスト②	●	記述と合わせ12月三者面談資料、推薦入試出願開始と重なる	×	●	●	●	●
20		河合塾大学別オープン	☆	旧帝・一橋・東工・神戸・早慶、10月全統共テとドッキング	×	×	(☆)	☆	☆
21		駿台大学別実戦模試	☆	旧帝・神戸・早慶、県内会場あり。ベネ駿プレとドッキング	×	×	(☆)	☆	☆
22		全統プレ共通テスト④	●	共通テスト約2ケ月前。本番直前期に向けた最終調整点を確認	×	●	●	●	●
23	12月	駿台atama+共通テスト	★	オンラインまたは県内会場で受験。5月・7月にもあり	×	★	★	★	★
24		共通テストパック演習	×	直前期の疑似本番として、自己採点を得点力を確認しながら共通テストに向けた最終確認を行う	×	駿台(東)・ベネッセ(東)・Z会(関)などから2～3セット任意購入し、各自で取り組む。			
25		共通テストパック演習	×		×				
26	1月	共通テストパック演習	●	3学期始めに共通テスト直前シミュレーションとして実施	●	●	●	●	●
27		東大・京大直前テスト	△	1月末に東大・京大受験者を対象に実施。添削・解説配信付	×	×	×	×	△
28	その他年間随時	東進レベル別(記述)	＊	年間を通して全国から出題。実施回数が多く、採点・返却は速いが、母集団が小さく問題の質・判定の精度が荒い。河合塾・駿台と判日程のため、次善の選択肢にはできる。	＊生徒立間前に受験案内チラシを配置 任意受験。 ★共通テスト模試で近隣の大学が会場になる場合のみ(9月頃)、希望者受験を推奨				
29		東進共通テスト	(★)						
30		東進大学別・夏季	＊	旧帝・一橋・東工・神戸・早慶					
31		東進大学別・秋季	＊	旧帝・一橋・東工・神戸・筑波・千葉・広島・早慶など					
校内実施・(進学希望者)全員対象模試の回数●①				必須受験	●①	●③	●③	●③	●③
校内実施・希望者対象模試の回数●④+小論②				校内・希望者受験	①	①+小2	③+小2	③+小2	③
校外実施・希望者推奨模試の回数●②～④				校外・希望者受験	0	●	●②	●④	●④

（＊の模試(東進等)は任意受験(外部模)のためカウントから除外）

・本校は大学進学に耐えうる学力の養成を目標としているため、1学期については就職・専門学校希望者も全員模試を受験する。

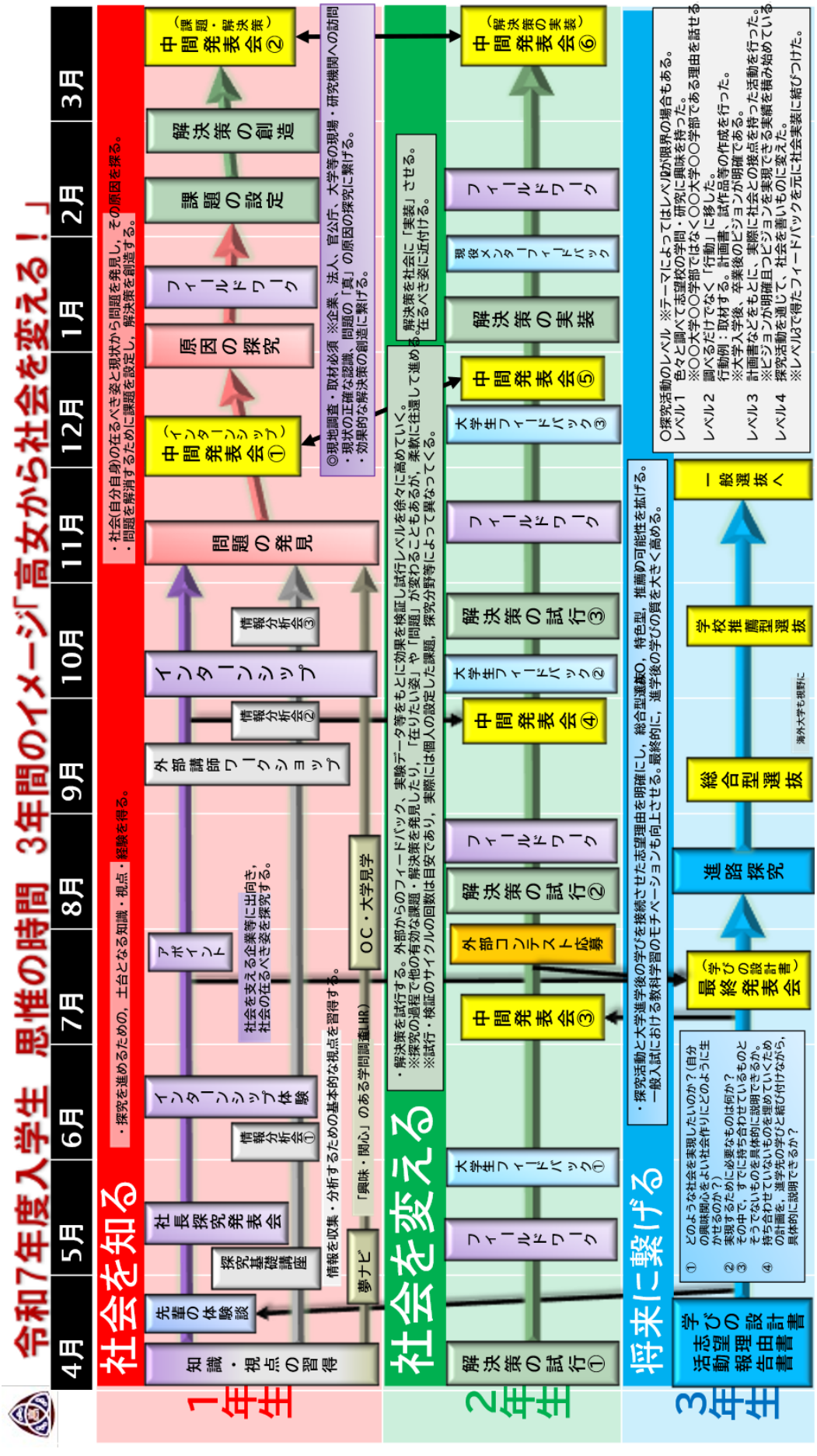
・7月三者面談…スタサポの基礎学力判定・6月進研共テ模試結果をもとに目標とする学力レベル・志望校群を決定し、夏休みの対策アドバイスを行う。

・12月三者面談…2学期の模試結果推移と11月全統プレ共テ自己採点をもとに、出願先の具体的候補を絞り込み、併願作戦を考える。

・志望校・出願校検討会…直近の模試を参考資料として、7月・12月三者面談直前、1月共通テストリサーチ判明後に実施。

（7） 探究：椎の時間（総合的な探究の時間）年間計画

（８） 探究：令和７年度入学生探究計画概要



（9） 令和７年度ＬＨＲ年間計画

月日	1年	時数	2年	時数	3年	時数
4/11(金)	スタディサポート	1	進路学習1（進路希望調査1）・委員会準備	1	進路学習1（進路希望調査1）、スタサポ振り返り）	1
4/18(金)	委員会準備	1	委員会準備	1	委員会準備	1
4/25(金)	防災避難訓練1	1	防災避難訓練1	1	防災避難訓練1	1
5/2(金)	委員会準備	1	こころの教育事業	1	委員会準備	1
5/9(金)	高校総体		高校総体		高校総体	
5/16(金)	生徒総会	1	生徒総会	1	生徒総会	1
5/23(金)	委員会準備	3	委員会準備	3	委員会準備	3
5/30(金)	進路学習3(大学研究・夢ナビ登録)	1	進路学習2（4月進路説明・学習歴完）	1	ベネッセ駿台共テ模試	
6/6(金)	進路学習2(入試の枠組みと設会生活について)	1	修学旅行1	1	進路学習2（進路講演会）	1
6/13(金)	進路学習3（文理選択説明、進路講演会(大)）	1	進路学習3（夏休みのOCに向けて、自己分析などを読む）	1	進路学習3（併願パターンを考える（推薦・総合型から一般まで）	1
6/20(金)	期末考査 進路学習3（夏休みへ向けて）	1	修学旅行2	1	期末考査 進路学習3（夏休みへ向けて）	1
6/27(金)	期末考査		期末考査		期末考査	
7/4(金)	生徒会役員選挙	1	生徒会役員選挙	1	生徒会役員選挙	1
7/11(金)	三者面談		三者面談		三者面談	
7/18(金)	終業式		終業式		終業式	
8/29(金)	進路学習4（OC等振り返り） ※OC、夢ナビ、研究応、博物館訪問等	1	修学旅行3	1	進路学習3（夏休みの学習振り返り）	1
9/5(金)	こころの教育事業	1	進路学習4（進研振り返り）	1	進路学習3（共テ出願説明）	1
9/12(金)	クラス総量	1	修学旅行4	1	ベネッセ駿台共テ模試	
9/19(金)	性教育講演会	1	修学旅行5	1	進路学習7（併願パターン国公立）	1
9/26(金)	体育祭		体育祭		体育祭	
10/3(金)	進路学習3（進路希望調査2、全統振り返り）	1	修学旅行事前指導	1	進路学習8（併願パターン私立）	1
10/10(金)	進路学習3（進路希望調査2、全統振り返り）	1	修学旅行当日		こころの教育事業	1
10/17(金)	進路学習3（夢ナビ振り返り） ※希望者は夢ナビライブ参加	1	学年集会	1	薬物乱用防止教室	1
10/24(金)	中間考査		中間考査		中間考査	
10/31(金)	防災避難訓練・キャリア教育系の講演会・学習会？	1	クラス総量	1	クラス総量	1
11/7(金)	防災避難訓練2	1	防災避難訓練2	1	防災避難訓練2	1
11/14(金)	進路学習3（文理選択）	1	進路学習5（進路講演会）	1	河合共テ模試	
11/21(金)	クラス総量	1	クラス総量	1	進路学習9（受験スケジュールを考える）	1
11/28(金)	期末考査		期末考査		期末考査	
12/5(金)	学校評価アンケート	1	学校評価アンケート/進路学習9（大学入試過去問チャレンジ）	1	学校評価アンケート	1
12/12(金)	進路学習3（進研模試過去問チャレンジ）	1	進路学習6（大学入試過去問チャレンジ）	1	三者面談	
12/19(金)	進路学習3（進研振り返り）	1	進路学習7（進研振り返り）	1	進路学習9（出願校調査）	1
1/9(金)	進路学習3（共通テストを知る）	1	進路学習8（共通テストを知る）	1	進路学習11（共通テスト前準備）	1
1/16(金)	進路学習3 （進路希望調査3、共通テストを知る）	1	進路学習9 （共通テストチャレンジ）	進路学習9（共通テストチャレンジ）	共通テスト前指導	1
1/23(金)	進路学習3 （大学入試過去問チャレンジ、2～3日の学習について）	1			クラス総量	1
1/30(金)	学年末考査（進路学習3(2,3月の学習について）	1	学年末考査（進路学習8(2,3月の学習について）	1	クラス総量	1
2/6(金)	クラス総量	1	小論文講習	1	クラス総量	1
2/13(金)	学年末考査		学年末考査			
2/20(金)	（入学者選抜？）		（入学者選抜？）			
2/27(金)	卒業式準備	1	卒業式準備	1	卒業式準備	1
3/6(金)	進路学習3（進研模試振り返り）	1	進路学習9（進研模試振り返り）	1		
3/13(金)	クラス総量	1	進路学習11（先輩の話を聞く）	1		
3/20(金)	春分の日		春分の日		春分の日	
	合 計	35	合 計	32	合 計	29

（１０）高女 GP ポスター2025

